

頼 妙 漢

1998年 4月 10日

第1号 発行責任者: 柊野

○のはなしと がびょうのはなし

ある本に「最近の子どもは ○が書けない」と書いてあった。一瞬、「???」と思ったが よく読んでみると「なるほど!」と思った。その根拠のひとつは、「物事をきちんと見ることができない」ということ。もうひとつは「手先が不器用できちんとした○が書けない」というもの。それから 最後は「○は書けるけどそれが小さかったり、紙の端、こしか 使えない」というものでした。

そこで 実際に 書かせてみた。案の定、そうだった。○が歪む。小さくしか 書けない。子どもたちの物の見方は 今、どうなっているのか。

無題



手の中に がびょう がある。
僕はそれをいじくりまわしてみた。
針の先に触れると少しチクッとした。
変な形だ。
けっしてにぎりごちちはよくないだろう。
にぎってみたことはない。
にぎると針がささるから。
僕は痛いのはいやだ。
だから手の中でいじくりまわしてやる。

阿部麻美



人、それぞれに物の感じ方は違う。だから 考え方も違う。

そこで、手元にあつた「がびょう」を1個ずつ渡し、それをじっくり眺めて詩を創ってもらった。

いやな音

黒板をつめて
ひっかくと
いやな音がする
がびょうで
ひっかいても
いやな音がする

福田智栄

無題

がびょうは 回すと回る

須田裕哉

麻美も 智栄も 俊介も
裕哉も 正智も みんな
もっている色が違うの
だ。色も形もにおいも
何もかも違う。だから
こそ、学校は 楽しいの
だ。

がびょう

がびょうの形は

かさのようだ

阿部俊介

みんなそれぞれ違う。違、って当たり前だ。
そこから 出発しよう。こんな当たり前のこと
から 出発しよう。この所をしっかりと確認
したい。

なぜなら、学校は 金太郎飴をつくる所では
ないからだ。同じ価値感をもって、同じ顔をし
た人をつくるのが 学校の役割ではない。

「がびょう」ひとつ 取ってみても、こんなに感じ
方が違うのだ。

このことを 出発点に
したい。これをきち
んとみんなで 確
認したい。1つの
考え方や物の見方
に固執することな
く、もっと自由に
発想させたい。
感じさせたい。



左の詩は どんな意味があるんだろう。
先生は 昨日から 何度も 読み返してみた。
だが 何度 読み返しても 悩んでしまう。今
の中学生の心境が 述べられているのか、そ
れとも 個人的な心境なのか。先生の心に
突き刺さって なかなか ぬけない。



「みんなそれぞれ違うのだから、みんな 好きのように 勝手にやればいい」と
言っているのではない。逆に、「違うからこそ 何かを 契機に 結び合わな
ければいけない」と言いたい。異質な者同士が一つの場所集まって、何
かを 契機に 結びつく—そこでは 当然、意見の対立や考えの違いの 交流が
行われるはずである。それが「学校」なのだ。

(担)

頼 紗 漢

1998年 4月 14日

第2号

発行責任者: 柊野

日記第1号より ~何を書けばいいか?~

4月13日

今日は、いやな事が、たくさんあった。

まず、授業中に、ぐだ〜としかこうをしてただけで

寝ていたと言われた。なぜこんなかこうで...

もう一つは、委員会で、むりやり、副委員長になってしまった

最後は、クラスの班で、これもまた、むりやり班長になてしまった。なぜ僕だけ...

雁部 祐輔

昨日の帰りの会は 散々だった。みんなからは「ねてた〜!」と言われ、それに対して祐輔は「ねてね〜」。でもこの日記からすると「ぐだ〜」としてののは 確かだ。なんで「ぐだ〜」てなるんだ。

4/13 谷川 正智 たいへんな1日。

今日が2年で 最初の日記だ。今日は、朝からいろんなことがあった。1時間目に席替えがあり、その班で仙台に行くことにもなった。ぼくは班長になった。ついでに4時間目に、班長の係長にまでなてしまった。あんまり今は自信がない。他の係の係長は、4人のうち3人が1組それも、学席番号順だと、12、13、14、15とならんている。しかも男だ。これに2組の譲で、係長のメンバーだ。このトクで自取研修がうまくいかは、とても心配だ。 おわり。

よく 並んだもんだなあ。これを 読んで 先生も 少しだけ 不安になてきた。みんな 無事に 帰てこれるか。成功のコツは 必ず リーダーが しっかりすることだ。残り1ヶ月、先生が 鍛えて あげよう。

4/13 (月) 阿部 ひとみ

「NO. クラブ day」について、思うこと?

今日は、部活がなかった。私は、はじめ、NO. クラブ day の意味がよくわからなかった。それに、なぜその日があるのかも。はじめは、わからなかった。説明されて、なんとなくわかったけど、私自信では部活をやりたい。体を休めるのも大切だけど、私は、NO. クラブ day がなくてもいいと思う。私 1人では、部活は楽しいことばかりではないけれど、プレーをしていて楽しいし、部活の中で、悩んだりもするけれど、それがあからいいのかもしれない。部活がきらいな人も中にはいるけど、私は好きだ。1年生が入ってきたら、今以上にがんばりたい。でも、私も、いやな時はあったし、そんなふうに思う日が1人1回は必ず来るような気がする。△△△

END

先生は ひとみの 気持ちがよくわかる。クラブ大好き人間にとっては、「ノークラブデー」は 不必要かもしれない。でもね、先生はこう思う。

- ① 土、日は 練習や 試合で 使われることが多い。生徒も先生も疲れている場合が多い。
 - ② 最低でも 週1日は 完全休養日がないと ケガの原因になる。できれば 2日は ほしい。
 - ③ 学級や 学年で 使う日も 確保したい。
- こんな 理由で 「ノークラブデー」が 復活したんですよ。

~~~~~

何を 書けば いいんですか? 一日記を書かせるとまず こんな 質問が 飛び出してきました。題材は 自分で 選ばなければならぬので かなり 大変です。そこで とりあえずは、①(1日の生活の中で)感動したこと、心が 揺れ動いたこと ② 気になったこと、心に ひかかったこと、③ 文句や 不満 etc. こんなことから 始めたら どうですか? 今日の ひとみの 日記は とても わかりやすいし、おもしろいと思うな。

(担)



# 頼 妙 漢

1998年 4月 20日

第3号 発行責任者: 梶野

## ブルーな1日とブルーな人

4/17(金) 佐々木 広輝

主題 ブルーな1日

今日は髪の毛をバツサリ切、て学校に行きました。

3時間目の体育の時間髪形がきかけでこのアタナがかった。

一つは丸めめ味も、もう一つはモンキー。

ちょっとショックだった。体育が終り階段を登りながら。

今日は、ブルーな日だなと思っていました。

そうしたら今日は本当にブルーな日だった。

4時間目の社会の時間に大切な所をブルーで書いていたし、

靴下の色もブルー、外靴もブルー、おまけに体育着の色もブルー。

でも、こういう日もあっていいなと思っていました。

個人的には今の髪型の方がすきりしていいかなあ。ま、それだけみんなに注目されてる、てことだ。ブルーな日もあればピンクの日もある。

4/4(火)

部活ができない

宮崎 真弥

僕はきのうの夜から少し腰が痛かったのですがなにもきにせず、ねむりました。朝、起きたらなんともなかったのになおったの

かなあと思っていました。でも、1時間目の体育の時間、走って

いたら、腰がまた痛くなったのでやばいなあと思っていました。

それから、2時間目、3時間目と行くにつれてだんだん痛く

なくなってきたので部活はできる!! と思っていました。

そして部活の練習が始まり、ダッシュなどをしていました。

でも、途中にターンをするダッシュがあったのでそれをして

瞬間、腰がクキ……「こ、腰が……」その後はキンプテンに言、

て練習を見学しました。他の人の練習を見ていると体がムズムズして練習をやりたくなってきました。だから、早くなまして練習をさいかいしたいです。 おわり

腰は読んで字のごとく、体の要だ。「月」はにくづきと言、て 体も意味する。「要」とは かなめと読み、大切なところという意味だ。腰を大事にして下さい。

4/17 今日体育で

賢一

(金) 今日体育の授業でリレーをした。

どう走、もう一つはか、かに勝てるか考えた。

そして……わがたのだ。

はじめの何歩かを早くする。もう一つは

※次からは図で表します。

(スタート) 5.0 m (ゴール)

相手が上のようにしてきたら

上のようにすると勝てる(たぶん)。



なかなか鋭い指摘だ。授業を受けてない人はちょっとむずかしいかも。「50mを2人でつなぐ」ただこれだけの課題なのですが、なんのなんの奥が深い。賢一のように深く探ることはとても大切なことだ。

この間、ある先生に「今年は「とんちんかんだね」と言われた後、「なんでとんちんかんなんだ?」と聞かれた。「や、は」とんちんかんをやつを大切にしなきゃ」と答えたら、「へえ」と感心してた。

クラスには 気のきく人もいれば ほとんど 気のきかない ボーッとした人もいる。39人には 39人分の色があることは 第1号で言った通り。

「じゃ、みんな勝手に自分の色に染め上げれば いいじゃないか」となったんじゃ意味がない。色というのは 相対的なもので、他の色(いろんな性格や気性のこと)があるから 自分も映える。とんちんかん人があるから 気のきく人が光る。気のきく人がいるから とんちんかん人のおおらかさや人間味がわかる。とんちんかんを クラスの宝に。そんなクラスがいい。(担)

# 頼 紗 漢

1998年 4月 21日

第4号 発行責任者: 梶野

## 「大人」になった人と「相変らず」の人 （ちょっとは変われよ。）

4/20 (月) 宇都宮 エリカ

1年生 占

今日、部活に行ったら、1年生が来ましたの  
見当じゃなくて本気で入部したみたいですよ  
川上 部員は10人入ってきました  
2年生の方から2月のマッパの先があまり  
ほつてます。今日おレシーフとアップのしかたと  
サーフを教えました。今日のそのまわり  
もレモ、基本を身につけられなかったり  
自分のマッパもあるのマッパをもらいました  
あの教える方で覚えてもらえなかったです  
リハビリ1年生は「さようなら」と言われました  
2年生は2月のマッパを覚えてくれた人たちが多かった  
うれしかったけど、マッパが壊れても困った。

エリカもいよいよ2年生だ。「エ〜、ウツ〜!」って感じだが下級生から  
「さようなら」なんて声かけられたら、やっぱり2年生になったんだよね。

4月17日(金) 頼田裕哉 気合

今日は、3時45分目に体育があった。休み時間のさがるころに  
ジャージのスポンがなくて上のが2つあった。はくは、制ふくの  
スポンをはいてやらうとしたが、とまりのA君がやめたほうがいい  
んじゃないかといわれたので、はくは、たんに自分でやることにした  
さむかった。

17日は相当寒い日だった。はじめは「しょうがない」と思ってたけど、時  
間がたつにつれてだんだん、気の毒になってきた。みんなは「気合入ってんな」  
なんて言ってたけど、本人はそれどころじゃなかったんだ。

4月20日(月)

今日は、午後の4時から、かきしぶりに、家のやねうりやにいった。

うしろ、くものすゝ。あー、あー、た。は。は。は。くものすゝにひっかか。てし。ま。た。か。  
う。い。ち。や。う。で。ん。と。う。ち。も。て。い。た。か。ら。ん。も。の。が。め。が。ん。ず。て。も。足。ま。と。り。お。て。こ。る。ん。だ。

ヤンピらしい。「頭かくして尻かくさず」屋根裏に入り込んで何やらごそごそ  
や。て。る。裕。哉。の。姿。を。想像すると、背中に寒いものが走る...

4/20 担当 すずスケ

&lt;初めてのようない日記&gt;

今日は後の11時。ちやうど「スラスラ」が

あ。わ。た。と。こ。ろ。で。す。だ。か。ら。ぬ。む。い。の。で。す。

今日は、二年生初めての日記を書いて

います。昨日1人が制野先生と分かった

時からすてに日記を書く「かくご」を

してしました。(ベテランでも日記はこわい。)

マッパ先生は「日記を書いて下さい...」と

言ってきた...。しかも是書を付けてと言ってきた。

(さすがのベテランも日記に是書をつけたことはない)

だから「初めてじゃないよう」で初めての日記を

書いた...

「担任→梶野先生→日記」何と素晴らしい発想。ここまでくれば  
裕輔はもう家族も同然だ。先生のことも金？知り尽くしている。しかも  
贈った。これにはさすがのベテランもまいったらう。先生は君たちより  
もパワーアップしている。君たちはついてこれるか?

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

日記を読むといろんなことがわかる。日々の成長などと大それたことは言  
わない。ただ日々の生活がよくわかる。エリカが下級生にあいさつをされ  
て恥ずかしかったこと、裕哉が屋根裏で何やら怪しいことをしていること、裕輔  
が担任の名を聞いて覚悟したこと etc. だから、日記はやめられない。  
おまけに昨日から父母の間をまわす子育てノートも始まった。親が何を  
考え、何を伝えようとしているのか... 先生も一人の親として議論に参加した  
い。だから君たちも言いたいことはどんどん言いなさい。書きたいことは書  
きなさい。それができない学級であればそれまでだし、そうならないように  
担任は努力する。

(担)



# 頓珍漢

1998年 4月 23日

第 5 号 発行責任者：梶野

しっかりしなきゃなあって思うんですけどねえ...

4/20(月) 担当 → 幸恵  
 もり、春はなごけと...。

今日は朝からあったかくて、グレースーなれが  
もおいなりなれじゃなれがなあって、暖かくてした。  
暖かくなってくるのはいいけど、このグー、よく  
つかれてるよな気が"します。グーカリも、このグー  
いは"い重くし、50分授業。それから、い"い"う"  
ある日は、も"い"す"〜としてることも多いで"す。  
ふっととなりの人を見ると、テキスト進んで"い、  
い"い"い"自分もや。たり……。たまーにありす。  
2年生なれが"から、いつも"い"な"たら、大変"い"。  
"い"かりしな"や"なあって思"う"れです"け"と"ね"。

こういう日記を読むたびに 先生は 胸が しめつけられる。なぜか……。昔（と言っても 15年くらい前）は、少なくとも先生の周りには 塾などなかった。あったのかもしれないが、先生の友だちで 塾に行っている人は一人もいなかった。だから先生の実感として 塾が どんなものであるかというのはわかりません。そんなに 田舎だったのかな？（それは言えるかも…）

地球上で人間が平等に与えられているものは、「時間」と「空気」くらいなものか？ いや それとてあやしい。幸恵の日記を読む限り、そう思わざるをえない。いろんな社会条件によつて「時間」も変化する。上の日記は、それをはっきりと示している。

ある教師はこう言うだろう。「時間の使い方を工夫しなさい。」また、ある教師はこう言うかもしれない。「時間なんてあるようでない。とにかく、その時、その時を精一杯やることだ。」そして、極めつけは「そんなことを考えるヒマがあるんだったら勉強しろ！」か。

いずれも左のような日記の前では説得力がなくなる。中学生が必要とする時間が圧倒的に少ないのではないが、自由に使える時間が少ないのではないか。目の前をただ無意味に情景だけが過ぎていっていないか。

当然、反論もあるだろう。「家ではTVばかり見ている」「TVゲームばかりしている」「マンガやビデオに夢中になっている」etc. 文句のひとつも言いたくなる。

しかし、このような傾向が「自分の自由に使える時間がない」ということに対する暗黙の反発あるいは反動と考えられないか。または、「必要とする時間が少ない」という現実からの「逃避」なのではないか。そんな感じがする。

TVやビデオ、マンガやTVゲームに夢中になるのはなぜか。「生活」を見直す第一歩としては意外に重い課題かもしれない。君はどう思う？



"思い込み"はキケンな話

先生は毎朝、2才と5才の2人の娘を車に乗せて、保育園まで送るのだが、上の娘は必ず絵を描く習慣がついている。最近ではエンビツと紙さえあれば、幸せそうな顔をして絵を描き始める。

さて、昨日の話。いつものように紙に何かい、絵を描き始めた。(上の絵)。

「さき」というのは 妹で 右側にいる 足の長い、眼鏡をかけた人物が 先ほど。

娘：ほら、さきちゃんとお父さんの絵だよ。

父：結（ゆい）ちゃん、絵上手になったね。きれいなお花ももってるね。

娘：……。

父：???

娘：お父さん、これ手だよ。

父:.....



思い込みで 話をすると とんだ落し穴に落ちることがある。

(抱)

# 頼 紗 漢

1998年 4月 28日

第6号 発行責任者: 梶野

## 梶野先生、元気ですか？

4/27

ひとみの姉です。

梶野先生、元気ですか？

和は、今、帰ってきて、この日記を書いています。

このころ、やっと、学校生活になれてきて楽しく、  
学校生活をおくっています。

部活は、毎日大変ですが、楽しいですよ。

バレーの練習したいは、さほどではないですけど、

体力づくりとか筋肉トレーニングがすごく大変です。

とくに、ランニングが……。

4分、3kmは、走っていると思いますよ。

タイ、毎日走っているんですよ。4日間、1分タイ

がよくなりました。今なら、馬鹿にでも出来ますよ。(笑)

でも、バレーやりたいから、がんばってみようと思います。

梶野先生、秋生先生と、変な事は、かきたくないで下さい。

体に気をつけてがんばって下さい。

和が20才になったら、お酒飲みにつれて行って下さい。

でも、変な事しないでネ……(笑)

PS. 2年1組のみなさん、梶野先生は、楽しんでますよ。(笑)

PM. 10:00

教え子から こういう日記をもらうとは思いませんでした。嬉しいなあ。  
すごく頑張ってる様子がわかる。先生もおたおたしてられないなあ。こういう  
のを読むと 何か ふつふつとエネルギーが湧いてくる。

今、上の娘は毎日朝、石巻駅が AM 5:28 から 6:14 で行き  
帰りは早くて PM 9:00 遅いときは PM 11:30 に帰ってきます。  
はじめは、ものすごく不安でしたが、まわりの人達の力を借りながら  
前向きに頑張っていると思っています。  
ひとみも前よりもいろんな事を手伝ってくれるようになりました。  
子供達が大人になった時、いろいろあったけど頑張ったよって  
言えるような中学校、高校生活を送らせたいと思います。  
親子ともどもよくお願い致します。 ……ひとみ 母

4/27(木)

直人

＜万中5周年＞

今日は朝に開校記念式が行われた。

その式の話の中で僕の心に 焼き付いた言葉は「明日は我が

今日は来ない」と言う言葉だった。

僕はだからこそ「努力」と言う言葉があるように思う。

その努力を毎日少しずつ重ねていき、そして、何事にもくじ  
のないうちにしたいと思います。

ひとみさんのお母さんの日記と直人くんの日記。何か重なるものがある。  
先生のモットーのひとつに「若い時にしかできない事は若いうちにやる」  
というのがある。若いうちから ベテランのような立ち居ふるまいはしたく  
ないし、もともとできない。でも中には若いのに 妙にふけた人と  
か、ものすごく合理的に(さすがに)行動する人がいる。

まゆみさんも今しかできないことを今やっている。2度と戻らない今日  
という日をめいはい生きていく。いろんな経験を自分の血や肉に  
して、精神的に肥えようとしている(くれぐれも体ではない)。

誰だって 後から「ああすればよかった、こうすればよかった」と思いた  
くはないはずだ。ひとみさんが バレーボールに 熱中することだって、直  
人くんが 生徒会の活動に 精一杯することだって、そんな 思いがあるか  
らだ。いくら物が満たされても 心が満たされなければ 生きた甲斐  
がない。反省は人を育てるが 後悔は 人を育てない。

「若い時の苦勞は 買、てでもしろ」 皆、苦しいことから逃れようとしてい  
ないか。今しかできないことを 放棄していないか。再考を促す。(担)



# 頼 珍 漢

1998年 5月 2日

第7号 発行責任者: 制野

## お父さん、子育て日記書いてみませんか?

5/1 (金)

PM 7:00 「ただいま〜」

妻 「おかえりーなッ!! 宿題」 (子育てノート)

妻 「ケッ」

妻 「あんたが書けば まるくおさまる」

この一言で、今、ビールを飲みながら書いています。

子供達の日記 = 学級通信は、ムスコが一年生から制野先生のクラスだったので、毎回楽しく読ませていただいております。(でも親の通信ノートがあるとは思いませんでした。)

この学級通信から子供一人ひとりの気持ちや行動が手に取る様に分かり、皆、明るく学校生活を送っているのだから想像しております。

このクラスには、無縁な事とは思いますが、子供が非行に走る一帯の原因は親の不和が発端と言われております。しかし、子育ては母親の仕事と思っている「おとうさん」が非常に多い。

制野先生のクラスの「おとうさん」たちには、子育て日記書いてみませんか?

そして子供達を見守っているのは「おとうさん」と「おかあさん」なよ。

制野先生「頼 珍 漢」楽しんでますヨ。

さかえの父

4/9 (水)

志光軍

お母さんと対決

朝日言己をお母さんに言われた。火曜日の1時間目の体育が辛いのは、月曜日の夜スマスマを見るから寝不足がみ、おまけに火曜日の朝は、食欲もない。だから月曜日は、9時に寝ること。火曜日の朝は、ヨーグルトだけがごはんにする。今日言われた。でも僕はお母さんの方が早く寝るのスマスマは見れると思っている。この対決は僕の勝ちだ。

この前日、広輝は日記に「火曜の1時間目の体育はつらい」と書いていた。それを読んだお母さんとのやりとりが、おもしろい。軍配は、広輝に上がるのか。続きが楽しみだ。来週に期待しよう。

4/28 (火)

学級委員をや、て

絵理

私が学級委員に決まった時、私はうれしいようで、半分、嫌だという気持ちでした。学級委員になれば、合同朝の会の計画立てや、中央委員会、それから学級をまとめるという大事な役目だからです。でも、今、学級委員をや、てみて、よかったと思っています。私が思っていたとおり学級委員は大変だけど、でも、楽しこともいっぱいあり、けっこう楽しくや、ていくことができました。学級委員は、2学期の後半までだけど、学級の人に、どんな人を学級委員にしなければよかった?と思われなように、自分なりに一生懸命頑張、ていきたいと思っています。

E N D

選んだ方の責任も大きいなぁ。任せきりではよくない。責任はみんなで分担すること。これができなければ、はじめから選ぶ権利はない。最後はみんなで絵理を泣かせよう。泣かせたらみんなの勝ちだ。

栄くんのお父さんの文章を読んで、思わず、ニヤッとしてしまった担任です。内心(待てました!!)とほくそえんでいます。世のお父さん方の中には、子育て=母親の仕事と思っている人が少なくありません。お父さん方、それは大きな間違いですよ。一生のうちで子育てに関わる時間は、ごく限られています。お母さんまかせになて

いませんか? (4)

(背のび"しても 1.5m 担任より)



# 頼 紗 漢

1998年 5月 12日

第9号 発行責任者: 柊野

## 子育てノート. 父親才2号です。

～プロ野球の時  
間をちょっと  
減らして～

5/6 (水)

藤部

柊野先生! はじめまして! 祐輔の父です。  
又子育てノート 父親才2号です。  
連休明けで今日から仕事。夕飯が済んでプロ野球を見ながら  
観戦の時と思ったら、子育てノートを見てしまい呆れにおはちが  
口をききました。  
「お父さん書いてもいいのか!」と息子に聞いたところ  
「とっちでも いいよ～」だって...



さて! ハンも持ちながら何を言ってるか。  
子育てノートの1ページに書いてある「呼吸(同呼吸)」を讀んで  
「親の思いを子に伝え、大人の考えや物を見方を子に伝える」  
これが一番大事なことだと私も思いました。  
「親」であり「大人」であるお母さんが「親」と「大人」の意味を良く理解して  
子供に接していただくといいと思います。子供達が学校で生活している間  
は、柊野先生が子供達の親として「ほめて」「しかって」やって下さい。  
次回は「祐輔の母」の番です。お楽しみに!

今、この文章を見ながら改めて重いなぁと感じている。特に、「『親』と  
『大人』の意味を良く理解して」という言葉は。いずれ子は親を追い越して  
いく。親としてはそう願わずにはいられない。「親を追い越す」というのは  
身体的にも精神的にも親を乗り越えるということ。親の価値感をも時には  
乗り越えなければならぬ。その時、親の価値感があいまいで何を考え

## 広輝母子の対決 Part 2 ～いつまで続く!?～

5/11(月) 広光筆 お母さんと対決②

今日は月曜日。スラスラの日。今はPM9:30です。

「早く寝なさいよ」とお母さんは言ながらぐっしょりと寝た。

これでスラスラが見れる、とホッとした。

でも、いくら探してもテレビのリモコンがない。

もしかして、と思いお母さんの寝ている部屋をのぞいてみたら

僕のテレビのリモコンがお母さんのまひもとにしゃかりきになってあった。

テレビの本体で調整できるのを知りながら寝ているお母さんを見て

「今日の対決も僕の勝ち!!、僕はうれしかった。」

いやあ、痛快だ。(と言ってもお母さんに失礼か) 敵もあ、はれたが、  
広輝もさすがだ。スラスラに対する執念が感じられる。安心して床につ  
いたはずのお母さんにとって、これはまさしく悪夢かもしれない。なぜか  
矢の知らないが、この対決がいつまで続くか楽しみだ。

※ ているのか わからないというのでは困る。子どもが困る。独り立ちする時に  
困る。

だから、親は子どもたちに考えを押しつけるのではなく、伝えなければ  
ならない。たとえ、自分の言、たことを子どもに「それは違う」と言われて  
も言う時には言わなければならない。いつの世でもその繰り返しをして  
きたはずだし、それを放棄すれば親の役割を捨てることになる。それ  
が「親」として、「大人」としての責任だし、私もその責任を担っている。「親」  
にはなりきれないかもしれないが「大人」としての責任は果たそうと思う。



この間のGWに家族揃って盛岡(奥さんの実家)に帰ってきた。(行ってきた)  
その車中、どういうわけか上の娘と「〇〇は野菜か、果物かクイズ」が始  
まった。「父: バナナは?」「娘: 果物!」「父: セン、ホーン、正解!」などと、い  
う話をしながら楽しく北へ向かっていた。そして、

父: じゃ、「トマト」は野菜、果物、どちらだ?

娘はしばらく考えてから、「お父さん、「トマト」はサウダだよ。」と答えた。

子どもの発想は、いつの世も新鮮だ(相変わらず迷走状態のわが家です)。(担)

頓 珍 漢

1998年 5月 21日

第10号 発行責任者：梶野

## お兄様からの お土産の話

5/15 ⑩ 遠望 〆お兄様

今日は、お兄ちゃんが修学旅行から帰ってきました。  
私の、兄ちゃんからの、おみやげが、  
楽しみで"だ"んだ。

和にこのおみやげは、→ザンリオからもらった  
キティーちゃんのゲームと、いちご新聞だった。

それから、チャーニス"ショウ"70にいてキーホルダーだ。  
は、きり、いって、お金を使ったのは

キーホルダーだ"けだ"と私は思った。

でも、おみやげをかってきてくれてよかった。  
さすが、お兄様と感じた。

またそのあとがすごかった。


テレビの上においておいたゲームがねこのみさ  
はこの水のなかにおちたあやぐ、びびが"入った"  
ぬっ、ちゃく、ちゃおこられた。眞珠にきた。

＜三＞兄貴

修学旅行のお土産を買ってくるなんて いい兄貴だ。<sup>たどえ</sup>お金がかかっていなくとも その気持ちだけでいいじゃないか。物がどうのこうのじゃない。妹のために重いカバンを背負って東京から帰ってきたんだ。それだけでよしとしよう。悪い兄貴だったら お土産なんか そちのけで、小遣いもってトンヅラしていたに違いない。

5/15 日野 第4

家に帰って僕は、テレビを見ようとした。  
しかし、リモコンの電池が使えなくなっていた。  
そこでゲームボーイで使い古しの電池と代えてみた。  
するとなぜかテレビの電源が付いた。使えないはず  
なのになぜか使える。そこで、リモコンの電池  
をゲームボーイにやった。またまたなぜか電源  
が付いた。||||でんすだ。

先生が絶対売れると思う特許商品がある。それは「電気の残量がひと目で乾電池だ。電池のわきに  こんな感じで残量を示す目盛りがあれば、絶対売れる。それとももう売り出されてるか？」

5/18 (月) きんちゅう

エリカ

今日は六時間目の後にJRC加盟式カバ

ありましたのやいはいのになつてしまったなあと思ひ  
つつも「か」に「い」に「ん」に「ん」を受けとりましたの

おわってほっとしてゐたのが、いけなかつたのが、木交長先生の  
話のときは「リチ」を「た」と誤としてしまひました。

もうかしきんちょうしていいね"よかったなあ。あ。

そのしゅんかんにはみんなの注目を集めてしまって思いやりを下を向いて  
しまったくらいのはずかしさでしただけ

あの音はエリカだったんだ。かなりみんなの注目を集めていた。よくあるよな。人が集中して話してる時に、筆入れとか落とす人。先生が小学校の時、社会の時間に仙台空襲の話も聞かされていた。すごい話だったのでみんな静かに集中して聞いていたら、後ろの方で「ドッ、バーン」なんて音がして振り向くと、友だちが倒れて全身がけいれんしていた。びくくりして病院に運んだら、その人は何と椅子の背もたれに体重をかけて遊んでいるうちに、そのまま後ろに倒れてロッカーに頭を打ったらしい。その時はみんなで「戦争の話でびびったんでねえが」とか「何か変な霊でもうつったんでねえが」なんて、変な憶測が飛び交ったものです。どこのクラスにも1人はいますよ。

(担)



# 頼珍漢

1998年 5月 26日

第11号 発行責任者: 制野

## お母さん特集 ~ 幸せという島と 注文の多い息子 ~

5/9 広輝の母

いつもお世話になっております。何を言っても正直戸惑っています。

我が家は、三人家族です。三人で2人の船を漕いでいます。

家族が幸せに暮らす島まで、助け合って漕いで行くのです。

三人が同じ方向を向いて漕がなければ、船は進みません。

誰かが疲れて漕ぐのをやめてしまえば、その場所に(汗?涙?)が

溜り込みそうになります。その時は、残りの二人が「どうしたの?」と

理由を聞きます。そうしたら、「どうして疲れてしまったの?」

「何か心配がある?」隠さず全部言うのです。

そして、「そう言う時はこうしたら、とアドバイスしたり、

「何か手伝える事は無い?」と考え、助けてあげます。

そしてまた、ゆっくりと、ゆっくりと船を漕いで行きます。

三人で力を合わせて、幸せという島まで... (我が家でいつも話している事です)

でも実際には、「お風呂沸いて...」「洗濯物入れ...」「つまみ何を作ろう?」などと

助け合っているのは、母親の二人です。

嫌な顔もせず、広輝と主人は、いつも言う事を聞いてくれています。

「幸せという島」いい言葉だなあ。人間なら誰でもがもつ究極の目標だ。

2の1はどうなんだろう。39人がみんなバラバラに漕いでいないだろうか。

たとえ漕ぎ方が違ってても目標に向かう志が1つならば、やがて船は「幸

せの島」へ向かい始めるはずだ。ただ中には疲れやすい人やあきらめの早

い人もいて、その時どうするかで学級の真価が問われるだろう。言葉だけの  
思いやりや支え合いは足りない。本当の結びつきがほしい。

5/22

鈴木裕輔の母

我が家でも先週頃から「お母さん来週来るよ」

今週になつてから「もう少しで来るよ」とじわじわとプレッシャーを

かけられていました。そして今日息子にノートを渡して来ました。

私がノートを見ながら(何を書こうかな...)と思っていると

息子が隣で「お母さんあんまり上手な文章を書くと頼珍漢に

載せられるよ」「でもあんまり短い文章だと先生に失礼だよ。」

と、次々にいろいろと話をしてくるのです。内心私は(キッターの会話

これを書こう)と思い「どうして短い文章は失礼なの?」などと

会話を膨らませていきました。「うーん、なんかねがっかりして失礼に」

と息子。私「この会話書こうかなー。」息子「ダメ、会話形式は

載せられる」私「ふーんそういう傾向があるんだ?後は?」

息子「おもしろい話もダメ」

制野先生、こんなに注文が多いじゃ書けなくてさよ。

だからこの会話を書きました。息子は自分で自分の首を締め付けたのです。

一年間、よろしくお願いします。

追伸: 私、書いた文章を見た息子は「載せられる、書いて」

載せられるよ...」とまだささいに言っています。あきらめが悪い息子です。

1年も一緒にいると「担任の傾向と対策」がすっかり出来上がるようです。

でもそんなことでへこたれるような担任ではない。「載せられる!」とビビっている

裕輔にも容赦なくボディブローを打ち込むのが、今の担任の楽しみなのだ。

そういう意味で裕輔は墓穴を掘ったのだ。こんなに母子の様子が伝わる

日記が出てきたのも裕輔があまりにも「載せられる!」と騒いだからだ。今日

は先生とお母さんの勝ちだ。

追伸: 文章は短かくても失礼ではありませんよ。できれば母子の会話や

お父さんやお母さん方が抱えている悩みなんかも出してください。

(担)

# 頼珍漢

1998年 5月 28日

第12号 発行責任者: 梶野

## 〈今日の1時間目(学活)のはなし〉

5/25 担当 すずすけ

〈毎時間?それとも移動前はダメ?〉

今日、1時間目のときに「マニカ本などの使い方」について話し合った。(話しきった...!?)

け、こうスムーズに話し合いはすすんだ。

でも、「いつ使ってよいのか?」というところで

いろんな考えがでた。...聞きたい?

〈ある班〉『毎時間 いいよ...』

〈あの班〉『昼休み だ! けたッペサー!』

〈この班〉『移動教室の前はダメっすよ』

けっさく 〈ある班〉と 〈この班〉の考えがのこった...

そして僕は(僕の班は) 〈この班〉の考え

だった。しばらく立対立(!?)していると、ベル、が

なった。テンテンテンテン〜

①『時間がないので多数決にしていいですか?』

②『いいでし。』

というわけで 〈この班〉の考えで決まった。

しかし今考えてみると「毎時間」と言った班は

みんなを信用しているからそんなふうに言ったのか

なんと思う。どっちなのかな。

提案には提案理由というのが必ず必要だ。だから 〈この班〉の意見が一番説得力があったのだ。ただ「信用して」というのはあまり説得力がない。それならば「みんなで守ろう」と呼びかけた方がよほど説得力がある。

5/29(月)

書くことがない

三浦大介

僕は今とにかん書くことがないのでこまっている

どうしてかという今日深くいんしょうに残っている

ことがないからだ。僕はこういう時どういことを書けば

いいかわからない。だから書くことがなくてこまっている。

糸冬わり

左の日記と同じ日に書かれたものだ。大介くんは 実 は 左の〈ある班〉の一員であり、『毎時間 いいよ...』という意見を 発表した 張本人だ。それなのに「今日 深く いんしょうに残っていることがない...」というのはなぜだろうか? 他にもこういう人がたくさんいるので、今日は このことについて考えてみよう。

確かに自分で題を見つけて日記や作文を書くというのは大変なことで、それは「子育てノート」を見てもよくわかる。ではなぜ 題(主題)が見つからないのだろうか?

その原因の1つは 観察力の不足だ。まず、物事をじっくり見つめる、そしてそれを自分の脳を通して(考えて)、脳に貯金をすることが大切だ。この物事をじっくり見つめる目というのが 必要になる。ちょっとした人のしぐさや言動、道ばたに咲く草花の色や形、町並や道すがら出会う人々の表情、担任の一挙手一投足にいたるまで 題材は五万とあるのだ。「今日1日、〇〇くんを 観察してみよう」とか「〇〇の授業中の 〇〇先生の言動を 観察しよう」とか、自分でテーマをもつのもいいかもしれない。

それから 原因として考えられるのは「表現」の問題だ。まず、はじめから「いい表現をしてやろう」とか「うまい表現をしよう」などとは考えない方がいい。その最も簡単な方法は「事実を書く」ということだ。あったこと、経験したことをそのまま書く。これが 日記や作文では 最も大切なことだ。自分の思いや決意を事実で語らせることだ。「かわいい花」というよりは「ピンク色の直径1cmくらいの小さな花」といった方が 相手にはよく伝わる。事実は何よりも説得力をもつ。

日記は君たちの生活史そのものだ。その時、何を考え、どう行動したか、どんな事実にとどう反応したかが 刻々と綴られている。学級通信「頼珍漢」は そんな君たちの心の成長を辿るひとつの 成長史なのだ。学級としての力が育つ過程を象徴するのが この「頼珍漢」なのだ。

(和)



# 頼 珍 漢

1998年 5月 29日

第13号 発行責任者: 梶野

## <“足”のはなしから考えたこと>

5/18 阿部 ひとみ 足

私は、足をケがしてから、約2週間。

短いようで、私にとってはとても長く感じられた。

足をケがしてから、自分がやりたいことはやれないし、

行きたい所もいけなく、とてもつらい。友達には、いろいろ

手伝ってもらって、朝も、いつも遠藤 望ちゃんにカバンを

持ってもらって、いろいろとめいわくをかけている。

私は、前まで、片足がつかえないことはそんなに難しく

考えたこともなければ、こんなケがは1度もしたことが

なかった。だから、ケがしている人を見て、「大丈夫？」とか、かわ

いそうとか思ったけど、どんなに大変なことなのか、実際

には、わからない。そんなに難しいことではないと思っ

ていた。けれど、この2週間でそれがどんなに大変な

のか、よくわかった。ふつうにふつうのことができなく、

なにをするにも大変で、今回、友達の優しさ、大切さ、そし

て、足、体の大切さをあらためて感じました。

ひとみさんの実感が語られている。松葉杖をつきながら廊下をピョコンピョコンと歩く後ろ姿を見ながら「ああ、早く治らないのかなあ」と思う毎日だ。五体満足で生活している時は、何とも思わない段差や障害物が、一旦ケがをしてしまうと、それが生活の中でうんと大きな妨げになっていることに気づくものだ。だから、ひとみさん、今は本当に大変だろうと思うけど、いい勉強もしているはずだ。人の優しさや温かさに触れられただけでも、神様に感謝しなくちゃ。この間、TVで高橋竹山（有名な盲目の三味線奏者）も来た。「目が見えなくても（目の見える人より）見えるものがある。」と。

どことなくひとみさんの日記と重なるところがある。

人の気持ちを理解する（わかる）というのはすごく難しい。難しいからこそ、人間はそれを己の課題にすることができる。猿でもできることを、人間

はわざわざ究極の課題とはしない。その点、上の投書のように、他人の事を自分の事のように思いをめぐらし、行動するというのはできそうでなかなかできるものではない。なかなかできないから、それがまた人間に課された「課題」のひとつなのだ。中学生にもその辺はわかってほしい。

健全な人と障害をもった人では「生きる」ということへのこだわりが違ってくる。目的へ行く」という目的の意味が違う。この投書はそんな、必死な思いが人を育てるのだ」という意味なのだが、健全な人が同じように必死になれば、もっと何かできそうな気がする。

また、字ばりの「頼珍漢」になってしまった。そのせいかどうか、最近、右の手首がズキンズキン痛み、ペンがまともに持てなくなった。今こうして書いていても手首が苦しくて「ああ、これで俺の手も終わりだ…」などと考えてしまっている。ここ数年は「通信は絶対、手書きで出す」という方針でやってきたが、こうまで痛いという中で「ワープロ」という文字がちらつきはじめてしまう。実際は手書きだろうがワープロだろうが、伝えたい中身にさほど大きな違いはないのだが、何となく手書きに執着してしまうのはなぜなんだろう？

頓 珍 漢

1998年 6月 9日

第14号 発行責任者：梶野

ああ、飽食の時代...ビシバシやりたいんだけど

6/8 月) 集美の日

二年生にはって、真美・アリト、連絡は「はい」。あそ-  
 びに来た中にも、「傾城漢」が入ったので、遊んだら、  
 おもしろい事、やる先生をたのしむって、(今更、このウ事やるって、  
 先生、いはれたもんで) これ、ほかに、聞いた所、毎回有に書いて  
 出して載せるんだよ。息子、「お母さん、おもしろい」  
 母、うん、おもしろいね、今度は、あの子時、又、見せてね。息子、お母さん達  
 にも、あるから読んで。母、「はいで...?」息子、「だって、子供」に、たもん。

そうしている内、回って来た。うろたえるような顔の……  
私が印象に残っている息子の伝説にします。二斗半に於いて最初の頃からの出来事から帰って来たり。息子、今日最悪な日。母、また息を度々吐き出して怒っていた。（息子は思われない）米生に残るほど全部展べることを知れて、全部展べたりして。その話を聞いて、母あーら、……米生はねえの、おもしろい、……事、悪い事はつらいにして、真実には、そういう先生でないと、しつかり、頑張りなさい。片方は、節度が楽しくて、愛の中で、息子と同じで、母もビッチャレに夢中ですが、ヤガリな様にお互いに思い入れがあるように……。こんな親子ですが、米生、一年間、ぐびん、楽しんで、ピン、バツ、ン、首伸のお願、致します（明日、真実が、あらま、何と云うか母配）

おやすみはさ、P.M.10:00頃

給食の残食が多い。びっくりするくらい多い。この飽食の時代の中で、子どもたちは好きな物が自由に選べる。その逆に、嫌いな物は選ばなくてもよい。選ぶことができない給食の方が悪いのでしょうか。

(時代に合わないのか)

気づいてました？ 先生方のくせ～須田先生～

 $\frac{6}{6} (\pm)$ 

英語の時間には、

阿部 麻美 (2011.11.1)

今日、がんばって！...あの須田センセイは、いつものように“はいよー、stand up!!”（外人発音）とい、て教室に入ります。そう！バグびのよう  
に...。そして和は1年のときからまになって、気付いて、した。須田  
センセイの“はいよー”って何だ？ということが1日中気になっ  
ていました。（何故か）はいよーって...気合？（よくがんばる日本語でメーヤ）

 $\frac{6}{8} (A)$ 

病院に...

阿部 麻美

今日は、眼科にいらしてから、耳鼻科にいきました。  
耳鼻科で、須田セライが、なにやら子供に話をよんであげていました。そして、いすに座って待っていたら、須田先生の3歳の次女に呼ばれて、「あ、ここにいますか...」といたら、あの高い声で「あー何でかよー何でー?」と聞いてきました。眼科で2時間待っていたので... あ、こ... がおわりました。何だか知らないが変な気分だった。

最近、日記には「先生たちのくせ」シリーズが続いていて、これがなかなか楽しい。その中でも奥田先生編はなかなか読みごたえがある。これは次回、紹介しよう。

ところで、上の「はいよ～」について須田先生に聞いたところ、「はい、始めるよ～」という意味だそうです。他にも須田語録があるので後で紹介しよう。

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥ ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥

今日、2の1は1時間目にプール掃除を行いました。例年と違って水を完全に抜いたため、底には泥というか、何というかすさまじくのろのろ、ぬるぬる、べっとりした得体の知れないモノが全面に広がっていました。臭いもすごくて生臭さに加えて、鳥が運んできた魚の骨や羽根などがまじった、何とも言えない異臭がただよっていました。

その中を男子はデッキブラシ一丁持って果敢に飛び込んでいきました。カレーのルー状態のその得体の知れないモノを見ながら、「カレーだ、カレーだ」と喜んでいる和正くんの顔がとても不気味でした。(相)



# 頼 紗 漢

1998年 6月 19日

第16号 発行責任者: 棚野

## くやしい話とやさしい話

6/13 (土)

中体連で

(中総体)

ひとみ

今日は中体連だった。大会の役員の人たちや、知り合いの親の人たちみんなに、「足、大丈夫か？ 出れなくて残念だね」とひとみは来年もあるからよかったな」と、聞きあきるほど言われた。たしかに最後の中体連じゃないからよかったと言えは良かったかもしれない。しかし、私はみんなが言うその言葉に少しはらが立っていた。この地区中体連で負けてしまったら、もう先輩とプレーができなくなる。今まで「いっしょにがんばってきて、時にはきいて、時にはやさしく、おもしろかった先輩と。ほかの人にはわからない先輩のこと。自分の時の中体連に出れるから、勝てたからいいんじゃない。私はもう一度先輩とがんばりたいの」に...

本当にそうだ。「今、この時を精一杯やりたい」「先輩たちと一緒にやりたい」ひとみさんの本音は本当にその通りだ。でも周囲はそのことに気づいていない。だからひとみさんが腹が立つのはよくわかる。

クラブはみんなで作るもの。一人だけが頑張る、作るものじゃない。だから一緒にやってきた先輩と最後にやりたかったのだろう。

でもね、ひとみさん。そういういろんな思いを含めて、これからできる新しいチームで同級生と、そして後輩たちと「夢」を実現する方がずっと素晴らしい。嬉しいはずだ。「倍返し」というやつだ。応援してくれた人たちもたぶんそんな思いがあったと思うよ。神様が与えた試練だ。神様は試練に耐えられる人にしか試練を与えない。

6/15

手

俊介

今日家でかっている犬を病院につれていった。そしたら、病院の先生の手がきずだらけだった。そのきずはたぶん犬がねこにかまれたきずだと思った。病院の先生は手をかまれてもその重労働をたすけたいと思ってやっているんだと思った。

いい日記だ。先生の手を見つけた俊介くんの目。そこから考えたこと... 俊介くんの優しさみたいなものが伝わってくる。手には人柄が表れるが、日記には「人間そのもの」が表れる。いい日記だ。

6/17

真奈美の母

いつもお世話になってます。

朝は5:30 帰りは20:00とほとんどコミュニケーションのとれない親子ですが、私の家はちょっとこの時間帯に帰って来つてくれます。毎日、子供にはお母さんの生活ですが、私が今とてお世話しているのは、とにかく朝早く仕事でアポイントメントから毎日「いってらっしゃい」の手をふいてくれる真奈美が、いるからです。子育てノートと書いています。反対に私のほうから聞かせるつもりで、お母さんの家ですが、うちは子供連に帰るから明日もがんばろうと思う今日この頃です。

ノート、一日おくらしてしまいましたが、

これからよろしくお願いします。

仕事から帰ってきて、たぶん疲れた体で書いてくれたのでしょう。それだけでも何か娘に対する思いが伝わってくるのですが、内容も心打つものがあります。朝の5:30と言えば、他の子どもたちはみんな寝ている頃です。真奈美さんはきちんと見送っています。お母さんの後ろ姿を見ながら「今日もがんばってね」と訴えかけているようで、何か清々しい感じ（というよりは神々しい感じ）がします。

生活は家族みんなで作るもの。支え合いが次の日の、また次の日のエネルギーを生んでくれるのです。

(担)

頓 珍 漢

1998年 6月 22日

第17号 発行責任者：梶野

## 初めての自分との出会い

6/21 担当 すず"スケ

< かんは"る"ぞ" ~! >

あ、しは、かなり感動しています。

(別にドラマを見なければいいやしません)。

今日、スネ、初めて勉強できたんで"すよ、"

予定通り...。今まで一度もこんなこと

をしたことなくてねー(泣)の

こお なんとなく、スネ.....

“初めて気持ちよかったじゃない、実行できた。”

って感じで...マジで初めてで"...。

た"から あゝしは かゝん は"りやす。

今日の努力を無駄にしないために。 (完)

カントウハイ, カッター!! おっかねさん!

マネー・ジョー「はい、ピール」

④ 「あ、どうもっ...」  $\frac{7}{11} = 47\frac{3}{11} - \frac{1}{11}$

こういう日記を読むたびに“ああ、やっぱり子どもは成長してるんだなあ”と思う。今までの自分から一歩脱皮して、新しい自分が誕生していく。今はその脱皮を何度も何度も繰り返して大人に近づいていく大事な時期だ。いつまでも古い皮を身にまとっていたのでは、成長できない。今まで脱しきれなかった昔の自分に別れを告げ、新しい自分、出会ったことのない自分に出会う旅が、思春期なのだ。

チャレンジ精神を忘れるな。そして、先の見えないこの道を決して恐れるな。どんどん新しい自分と対面しなさい。

6/21 (月) 担当 土井七人の代り

今日にまのうにひまづつまテスト受けるの事をきま  
まの朝のうちに国語と数学をしました。

そしてお母さんに「問題」だして」といってだしてもらいました。(イカサマだった) 国語・漢字・数学・計算など。

をたいてもらいました。③ → 「もしせ」<sub>n</sub>「ふ」あたった雑誌買  
てんー。④ → 「ん」<sub>i</sub>「ふ」<sub>n</sub>で「買」<sub>n</sub>は「ま」<sub>i</sub>「あ」<sub>i</sub>「ふ」<sub>i</sub>「か」<sub>i</sub>

あるで「x o」①「もーたいの」②「まっ、い、ちとー  
せ、せ」③「あたなはいたしやう」④「ヤッ、マ、ー」

ちゃんとお勉強してきてヨカッタ。と云ふが、"せ" "ん" "ず" とけた。  
また"あ" た"て" る"か" わ"か" ん"な"い。... "は" "っ" "か"、国語も数学

※ 全部あたっていた。(まだね) 二つで"秋の勝ち"。

$$\lambda' n \frac{1}{2} \pi \rightarrow (k_{11} \pi \pm \pi) \rightarrow T=0$$

「勉強＝ごほうび＝雑誌」というのは ちょっと 心もとない感じがするが、それでも自分から勉強を始めたのぞみさんは えらいなあと思う。ごほうびが自分の心の中にあれば もっとえらい。お母さんも なかなか大変だ。

6/19. 和則 そうじ

今日、ふしふりに、そうじをした。最初などから手をつければよいが、あからなく、なる

く511. 封なかつた。まずは、司書出しから始めた。それを見たらお5、てしまった。

去年のテストが出てきた。思えばテストの点数があるくて見せられなかった。

誰でも一度は経験したことがあるはずだ。だから思わず笑ってしまった。悪い点数をとった時って、意外と親の本性が出るものなんだ。今度悪かった時、試しに見せてみるといい。反応が楽しみだ。(笑)

昨日は日曜日。私は例の通り、クラブの練習試合。疲れ果てて、家についたのが夕方5時30分頃。着くと同時に下の5才の娘がだきついてきた。その後、上の5才の娘がこう言った。

「お父さん、なんで今日、早いの？」

.....

思えば、しばらく一緒に遊んだことがない。ダメ押しで下の娘が、

「お父さん、なんで今日早いの?」「……。」



# 頼 珍 漢

1998年 6月 23日

第18号 発行責任者: 梶野

## 夢を見る動物...それが人間です。

英美の姉です。

私は漢中の卒業生で漢中 先生の教え子です。

私は今看護婦になるため家を離れて病院で働きながら勉強しています。私が家にいた時は毎日妹と顔を会わせ

インカビカリしていました。でも家を離れて生活を初めて

思ったよりは家族と会えないことのさみしさで。土曜日に帰る

のが楽しみで毎日頑張ります。いつも私のガスを楽しみに

待っていてくれる妹は私にしてみればカワイイです。

その妹がおねえちゃんと同じ看護婦になりたいと私に言った時。

なんでもおねえちゃんに似てほしいものかなが嬉しかったです。

学校でも家でもいつも元気一杯というふうなさくさく妹ですけど

これからよろしく願います。

みでのおねえちゃんより

頼珍漢読まれていただいています。

子供達の書いてある事に対する先生のアドバイス 教え

られる事がいかに大変勉強になります。

英美は明るいうる子供ですが未だ子供なので大変甘えん坊です。

でもすごく思いやりがありバスケットで振られても涙を

ふさふさせず我慢しています。

お姉ちゃんが書いた様ですが、将来看護婦になりたいと

いう希望を持っています。自分の目標に向けて頑張っ

てほしいと思います。

私も親として、子供の話しを聞ける親、子供から信頼

される親、子供に対して思いやりを持つ親になる様

にがんばりたいと思います。

一年間よろしく御指導お願い致します。

英美の母より

1/9 (金)

お世話さん先輩

英美

中総体が終わって、私が一年のまごころ、兄

弟のように接してくれた先輩たち。

中総体の時、山下中と戦って負けて、ある先輩

が泣いていた。私は、何を言ってやったかいいが分かん

だまって見ていました。学校へ帰ってから、ある先輩

が泣きながら「しまさん。県大会 がんばって行けよ」

「しまさん がんばれよ」って言われました。私は「はい」

て言った。私の部は女生が3人で、その他はみな陸上

です。3人でも、声を出して、友に注意しあい、かん

ばっています。今でも、私の先輩は、会うと、<sup>①</sup>「今から

部活?」<sup>②</sup>「はい」<sup>③</sup>「がんばらいいね」<sup>④</sup>「はい。」という。

もう一人の先輩は、部活が始まる前に、体育館

に来て、「しまさん がんばれよ」って毎日、言いに、

来てくれています。ありがとうございます。

私は、部活の時だけでなく、ふだんの生活

でも、お世話になりました。休み時間になると

「しまさんー」って来て、おもしろい話をもってきて

くれました。ある先輩が帰る時、「来どしまさん

どうゆう関係」って言われて、<sup>⑤</sup>先輩 後輩 の関係」

ていったら、<sup>⑥</sup>「えっそれだけ」<sup>⑦</sup>「兄弟」 と言っ

すごうれしかった。本当にいろいろお世話

さん先輩。

左は 志摩さんのお姉さんとお母さんのもので、上は 本人のもので

す。双方とも ノートにびっしりと書いてきました。

妹の夢を 家族が支え、励ましている姿、そして親としてこれからど

うすべきか その決意が伝わってきて、「ああ、英美はこういう家で育

んだ」と改めて感じました。

それに 英美を支える先輩たちもなかなか いい味を出してる。人間

味にあふれている。先生は 昔、ある先生から「先輩らしいことをし

ない人は 先輩ではない。」と言われた。いい先輩をもって幸せだ。

# 頼 紗 漢

1998年 9月 24日

第19号 発行責任者: 梶野

## スポーツの秋... 新人大会真・盛り!!

9/23(水) 麻美 <ホ<sup>0</sup> シ<sup>0</sup> ショ<sup>0</sup>ン>

今日は9:00~部活がありました。順ちように練習がはかどっていたと思ったんだけど、スロイグ練習のときに理紗(20)が、「こしいたーい」と言っていて「レ」がでできない。こしてセッターがいなくな。こしてた。そして4がセッターをやらされてしまいました。少し前まではセッターをしたんだけど、津山中学の練習いあいをきうかけにセンターにホ<sup>0</sup> ショ<sup>0</sup>ン移動して、センターのフォーマーショ<sup>0</sup>ンをおぼえてスロイグもよくな。こしたときにセッターをやらされたので、しょうがないとは思いますが、かんかくがうすれていて全体的にトスをあげることかといまはまんではい。そして先生には、「悪い場合には麻美がセッターになっから」と言われました。たかが早くリサがなあって、バレーがでるようにしてほしいです。そうすれば4はセンターでいいことになります。

いよいよスポーツの秋。昨日あたりから各部新人大会が始まりました。先週は市内の駅伝大会で女子が準優勝を果たしました。2年生が主役の大会です。来年の中絶体につながるような戦いぶりに期待しましょう。

私が受け持つソフトボール部も昨日は新人大会でした。一回戦で早々と優勝候補の女川一中と当たり、延長タイブレークの末、負けてしまいました。それでも随所に素晴らしいプレーが出たので、何とか粘ることができました。来年に向けて再スタートです。

9/23

俊介の母

うちの犬が死にそうです。  
12年と2ヶ月、いっしょにくらしてきた犬です。  
年だからさかうことのできないことです。  
でも、かなしいです。今日は調子が悪い。今日はごはんをよく食べた。そんな毎日です。  
話はかわりますが、うちには、1月31日に生まれたしゃんの妹がいます。なんかはなした。ハイハイした歯がはえた。スクスク成長しています。  
生まれてた命と消えゆく命。今微妙な年ごろのしゃんは、この2つのことをどのようにかんじているのか。ことばでは伝えきれないものを、自分なりにかんじて心の栄養として成長してほしいです。  
うまく書きあらわせないけれども、そんな思いで日々子供たちを見まわっております。  
今後ともよろしくお願ひします。

8か月だと、ハイハイからつたえ歩きにうつる頃でしょうか。  
“はえは”立て、立てば歩めの親心”よくわかるなあ。その気持ち。  
それとは対照的な犬の命。12年と2ヶ月と言えば、ほぼ俊介くんが生まれた頃から飼ってたんですね。寿命と言えばそれまでですが、やはり一抹の淋しさがありますね。ただ天寿をまとうしたのであれば、お祝いをしてあげないといけませんね。  
多感なこの時期、俊介くんにとっては辛いかもしれません。か、勉強のつたと思、見届けてほしいものです。



我が家の息子ももうすぐ2か月になります。食欲旺盛で体重も倍増。ちょっと太目は親父似か? 先日珍しく私がお風呂に入れたら、急に大人しくな、気持ちよさそうにしていました。ところが、実はあれの前兆だったんです。私の体もあれにまみれてしまいました。(泣)



# 頼 妙 漢

1998年 10月 2日

第20号

発行責任者: 棚野

## 課題山積 ... 秋の夜は眠れない...

9/24(木) 『新人戦』に お け て  
 カナ  
 私達 バレー部は、26日は新人戦が"あります。バレー部は16人で4人ユニフォームを入れると3人ユニフォームをきれませぬ。今はAチームというはやくいふは"スタメンの人達で"す。私は分けられるの、またで"Aの人たちコートに入るといわれるとあとの人達、まじ/いいにくなりおつけてしまいます。みんなは"どう思っているのかは知りませんが"私はそれで"も技術の面でも差が"こいてしまうと思ひます。で"も私はそれこそまけす"自分て"て"まるごと自分て"やりて"まない所は知ろて"いる人"にあしめてもらひたか"ら"か"んは"りたいて"す。

中学生らしさ、かなさんらしさがよく出てる日記だ。同じチームメイトでありながら「A」だの「B」だのと区別されるの嫌だというのは、中学生として人間としてもっともな感覚だ。たとえ技術的な差はあるにせよ、分けられるのは嫌なものだ。そう思うかなさんの感覚は全く正しい。「下手な人」だ、て練習すれば上手くなるはず。人より時間がかかるかもしれないけど、いずれは上手くなるはずだ。だからそういう人にも時間と場所を与えて、みんなが上手くなるのがクラブだ。条件が制約されればそれだけチャンスは減る。上手い人と下手な人の差がますます広がる。もしかすると気持ちが悪くしてしまうかもしれない。そうならないようにクラブを運営してほしい。中学生なら十分考えられるはずだ。

9/28

歌

谷川正智

今日から歌の練習がはじました。まだみんな、ふさけながらぶていた。ほくは、自由曲のばんそうをやりす。キーボードだとひきにくいです。男子の方がまだ音とりができていないのでばんばかりす。

9/29

朝練

谷川

朝練だ、45分こ学校についてたけど男子は少しいなかった。そのうちだんだんあつまって練習がはじました。男子だけで練習をすれば、なかなかのもので。でもきかぬとボロボロで、三太の声かきこえない。三太は1人でぼろぼろ。男子は二部にわかれるが、バスがテール(三太側)につられてしまう。三太は声が大きすぎる。それに、みんなちゃんと音がなっていない。もう練習する時間がないので、はやくおぼえよう。

9/30

ちゃんやわよー

谷川正智

今日の三浦は、おこっている。なぜなら、三浦はがんばっているのに。みんなが声を出さない、いつかしゃべっていたから、三浦はおこりがうたっていた。でも、帰りになると、みんなが声が出ていて、三浦もとばしていた。うまくなったと思うが、男子の二部にわかれる所がは、きりしない。自由曲は、うたいにくいし、めずかしい。棚野先生は、手拍子でござります、と、言っていたがむりだそう。ばんそうがない所もあるの、ちょっとねえー。ま、それはこれから考えよう。

今思えば結構難しい曲だなあ。手拍子が入って、アカペラが入って、最後は四部合唱だもん。それでも何とかしないと...

三浦くんは大きい声で元気よく歌ってる。だから、みんなよりも目立ってしまう。でもこれは三浦くんが大きいだけではない。周りが小さいのだ。今日の発表会の時、それがよくわかった。

残り2日。やることはたくさんあるけど、最後まであきらめないことだ。大介くんや正智くんの努力に報いるように男女とも力をふりしぼってほしい。(相)

# 頼 紗 漢

1998年 10月 7日

第21号 発行責任者: 梶野

合唱コンクール

## 2の1. めでたく金賞...の前に...

昨日の合唱コンクールで我が2の1は見事なハーモニーで金賞に輝きました。それまでの歌声がウソのような素晴らしい合唱でした。

この日の朝まで2の1の歌はピンチでした。とにかく合わない。音もズれる。声量もない。金賞には遠く及ばない...そんな歌声だった。

10/6(火) 担当 早都 恵里か

46 あり

題「金賞を取ったこと」

今日の朝はみんな練習していたときに

先生にやめなさいといわれたとき、みんないかに金賞だと

いわれたときとても腹が立つぐらい気がしなかったのとても女が

気持ちだったけれど先生の言ってることは正しいと知った。だから何も言え

なかった。先生がいなくなるとき千葉が練習するし

カセットを用意してときまがかりかかると思ってたのにまたそれを先生が

朝の合奏した方がいってまたあーあと思っただけでその後に

合奏の音も聞いてまた気がもちおうが驚いた。色々すかしたあう

と弓矢く思っただけみんな同じ思っただけです。本番は一生懸命

やりました。でもみんな上手だったよと言ってくれませんか？って聞いていたの

なんていうの。石田先生がいかに金賞1組といわれたとき。そーと聞いた

という気持ちでした。みんなの気持ちがいかに違ってかかると知り

マッという結果を出したと思います。大人になってからはいかに口をきか

い気持ちを覚悟できたので本当はよかった。○

それに何と言っても正智くんがいなかったのが、クラスにとっては大ピンチだった。暗雲が漂っていた。落ち込んだ中での練習はまさに「暗黒の火曜日」だった。そんな時はいくらやってもうまくいかないもので、昨日の朝などはまさに泥沼。やればやるほど深みにはまる。そんな状態で当日を迎えてしまった。

しかし、そこから事態は急転回した。沈んだ気持ちに再び火がついた。それはみんなで正智くんの気持ちを考えるところから始まった。

「夏休み中から伴奏の練習に取り組んだ正智くんのためにも、最高の歌をプレゼントしよう。悲しみの真、只中にいる正智くんを元気にしよう。」そんな気持ちが合わさってあの歌声になったのだ。同じように苦勞した正智くんや、英美さんのためにも、2の1はひとつにならなければならなかったのだ。その結果が金賞だった。

2の1はどちらかと言えば控え目で素直な人が多い。でも本気になれば何でもできる。実際、その通りだった。やればできる。昨日の一発逆転は本当に見事だった。自信をもって何にでもチャレンジしてほしい。



最近、世の中が何か変だ。保険をかけて人を殺そうとしたり、返さなければならぬお金をチョロまかすお役人さんがいたり、銀行が勝手に作った借金を国民の税金で補おうとしたり...。どこかが狂っている。

先日、ある生徒指導の会議に出席した時、こんな発言をした先生がいた。

「中学生の凶悪な事件が多くなったのは、大人の凶悪な事件が多くなったからだ。大人の方こそ、何とかしなければならぬ。」

その人は「だから少年法を改正して、もっと重い罰を与えなければならぬ。」と言っていました。この意見には賛成しかねるが、前半部分については「そうだな。」と思う。

変な事件が次から次に起こる世界にしているとちょっと変なことでも変だと思わなくなる。このことの方がもっと怖い。

水は低い方へ流れるのが世の常。いつの世に生まれても正しいものは正しい。悪いものは悪いと言える強い心をもらいたいものだ。

(垣)



# 頼 紗 漢

1998年 10月 8日

第22号 発行責任者: 梶野

## 合唱コンクールと道徳で考えたこと。

10/8 (火) 合唱コンクールで... 担当... 絵理

今日の朝、合唱の練習をした。声が小さく、男女バラバラで、先生にも「金賞は、かなりおい」といわれていました。でも、本番では、いままでの練習の時とは、違う、2年1組の姿がありました。いままでの中でも最高の合唱だったと思います。先生に、いわれた、たった一言で、銅賞という壁を破り、クラス全員が一つになて、金賞という大きな目標を達成することができました。自分でも、金賞といわれた時は信じられませんでした。クラス全員が一つになて、団結したということが、金賞への道へと導いたのかもしれない...

昨日、休んだ絵理さんでしたが、こんな日記を書いてきました。先生の「一言」って何だったんだろう？ 大したことは言っていないけど、それに答えた2の1は、やっぱり打てば響くクラスなのだ。

それに9月28日から始めた朝練の中で、しかりと力をつけたのだ。眠い眼をこすりながらやった練習の成果だったのだ。遅刻者はいても脱落者はいなかった。声の出る人は声の出ない人の分まで歌い、音のとれる人は音のとれない人をカバーしながら歌った。女子は男子の迫力ある歌声にひかれ、男子は女子のきれいな声にひかれながら歌った。互いに響かせ合った結果があの歌声だったのでしょう。

10/11 (水) 「道徳」の時間にしたこと」

5時間には、2-1では「身の回りで起こったちょっと変なこと」を発表したりした。それならいろいろ変なことか」でてきて楽しかった。「まさかこんな人いるはずないんじや」って思うようなこともあった。私は、黄色い旗はたがなくなるとか、自動販売機のシールがなくなるとか、なれて、気にしたことかはないのに、やっぱり中には見ている人がいるんだ。なれと思ったり。こんな変わったことをさがしてめると、きりがいいと思ったり。

昨日、道徳の時間、「身の回りで起こったちょっと変なこと」について、話し合いました。「変なことを変だと思わない怖さ」については前号でも述べた通りです。2の1のみんなの書いたものを読みながら、「ふむ、ふむその通りだ」と思うものや「ゲッ、そんなことがあったのか」とびっくりさせられるものまで本当にいろいろなものがあります。

その中でも「(交通安全用の)黄色い旗はなぜなくなるのか？」や「自動販売機のシールはなぜなくなるのか？」「テニスボールがなくなるのはなぜなんだろう？」というものがあり、普段何気なく目にしていながら、気づかないものがたくさんありました。何か変だと気づいていてもそれを口に出してじっくり考えるということはありません。探せば探すほどきりがいいからみんなが自然にそれを訴えることも、あえて追求することもしなくなったのだと思います。これが実は怖いことなのです。「赤信号みんなで渡れば怖くない」「無理が通れば道理ひこむ」で、理にかなわない行為でも慣れや馴れ合いでどうにでもなってしまう。

だから人間は時々、心と我にかえて後悔の念にさいなまれる(べきなのだ)。「同じ穴の貉(むじな)」となって悪い深みにどんどんはまらないように、人間は時々、悩み、考えるべきなのだ。これは大人にも言えることだ。



昼夜の寒暖の差が大きいのが、風邪ひきが多くなってきました。昨日はいろいろ理由で8人もいなかった2の1でした。季節の変わり目は要注意。夜は1枚多く着てもいいかもしれません。既にひいてる人はお大事に。

(垣)

# 頼 紗 漢

1998年 10月 16日

第23号

発行責任者: 棚野

## 中間考査の話 翔浦祭の話

みんな  
けっこう  
がんばってます。

10/12 (月)

自分から進んでできた

雁部祐輔

僕はいつも親に「勉強しろ!」と言われていって勉強を  
しませんでした。今日は、自分から進んで勉強できました。  
なんか、親に「やれ!」と言われてやるのと、自分から進んで  
やるのでは全然ぜんぜんちがうことが分かりました。  
テストまで今日をきめてあと3日、がんばっていい点を  
とりたと思います。

今日は珍しく「勉強」について考えよう。

以前、同じようなことをスズケ(鈴木裕輔くん)も書いてた(17号 6/22付)。中学生というのはいつ目覚めるのかよくわからない動物だ。何かのきっかけで突然良くなったり、急に悪い方に目覚めたりする。思うように育てくれないと嘆く親や教師を尻目に、ある時は小生意気に、またある時は妙に素直になたりする。感情が上下左右に揺れ動くのが特徴かもしれない。

さて、では「勉強」はどうか? 勉強とは「他から強いられる(強制される)」という意味がよから、先生はあえて「学習」と呼ぶことにしたい。これは「学ぶ」あるいは「習う」ということ自体に「自から進んで」とか「他から強制されず」という意味が含まれているということだ。他から強いられること=勉強、自分から進んで行うこと=学習なのだ。

そういう真の意味で「学習」に取り組んでいる生徒は一体、何人いるんだろう。自分が自分の意志で自分をコントロールしながら学んでいる人はこのクラスいや学校にどれくらいいるんだろうか。中間テストを前にふと疑問に思う。

10/14 &lt;中間テスト&gt;

今日は中間テストだ。朝6時半に起き  
て理科の原子の種類だけ勉強した。  
昨日も理科だけやって、ほかの教科は  
ほとんど勉強しなかった。だから今日の  
期末は理科にだけ力をつけていた。4教科はぜんぜん  
なてめなつたけど理科だけは全部書いた。  
でも4教科がなてめなつたからなぶん点数は  
あつたらう。もっと勉強してよかった。

正規

“一点突破”作戦だ。先生もよくやった。一つ一つ自信をつけることが大切。今までになかった変化を感じることが大事なんじゃないかな。反省も大事だけど、“これだけはがんばれる”教科を見つけることも大切だ。

10/15

たいこ

今日から翔浦祭の練習がはかどるようになってきた。  
ほくはたいこで去年もやっているから  
たいこぶたぶたぶたと思っていた。練習が始  
まる前に棚野先生に「今年のたいこは、ぶっきんだ」  
と言われた。ほくはその意味がぜんぜんわからな  
かった。練習が始まってほくはあせんとした。  
去年とちがってちがうな感じが、かくと35°くらいにたも  
らてたたくと言われた。「なに〜」と思った。  
今日からぶっきんだ。 正規

今年の太鼓は去年とひと味違う。形も違うし、中味も違う。その太鼓の背景にあるものも違う。考え方も違う。聞いている人には、そこも感じてもらいたい。ただ音だけ聞いてりゃいいんじゃないって、皆が何を考えながらたたいてるのか、そこもわかってもらいたい。

さて、中間考査の結果からひと言。大リーグの野茂がアメリカの野球に帰して一番がっくした事として選手一人ひとりのトレーニングに何かう姿勢をあげていました。“大リーグの選手はゲームの後もよく練習する。その日の反省を活かして...” 日本の選手は夜中まで酒飲んで、次の日を迎える人が多い。(組)



# 頼 妙 漢

1998年 10月 17日

第24号 発行責任者: 梶野

将来のために、学ぶことと

学ぶために、学ぶこと

大学入学資格検定試験に  
最高齢で合格

ひと

新

島

実さん



勉強してゐるんだね。合格して知らん。願を決め込むつもりだった。文部省から「最高齢記録を四歳塗り替えた」と名前の公表を打診され、よく考えず承諾したら、マスコミ各社から取材を受けた。

翌朝、「新聞を見て驚いた」と、千葉県に住む長女や、知人からの電話が相次ぐ。問題が、残る数学と総合格科。昨夏から予備校の通

所を手伝っていた。空襲に遭

い、発狂元の大主メーカートの工場が移転したのを追って大津市へ。旋盤を使いながら事務もこなした。「生きること」に精いっぱいだったが、学業への思いが時折、頭をかすめた。中学までで学校をやめた多感感もありました。

七十歳を過ぎたある日、本屋で何となく大検の問題集を手にした。難しそうだが解ける気がした。受験を決めたのは昨年六月。朝晩二人で続けてきた鉄工所をたたき、や

つと余裕ができたからだ。来春、大検合格を生かして大卒資格が取れる放送大学の「全科履修生」になろうと思

っている。プログラミング、微分積分、経済学、フランス語……。学びたいことをいっぱい挙げる。

文・写真 佐々木 英輔

6年前に妻を亡くし、一人暮らし。「勉強は頭の体操です」。83歳。

出所 朝日新聞1998年10月16日朝刊

“こんな人もいるんだなあ”と思ったのが左の記事。“えらいなあ”と思う。と、同時に“待てよ?”と思った。

83才と言えば、もう孫の子がいてもおかしくない高齢だ。普通なら、退職後はのんびりと自分の趣味にでも取り組んで、日がなゆったりと生活するものだ。将来のために何かをしようとしているように見えない。このおじいさん新島さんは一体何のために大検(※)を受け、またこれから大学を受けようとしているのか?

本人に聞かないと何とも言えないが、先生は“学ぶために”“学んでいるんだ”と思う。自分が知らないものの中から自分が知りたいと思うことを選んで学ぶ—このこと自体に価値を見出しているのだと思う。そこには“将来の生活のため”とか“何かに役立たせるため”とか、まして“老化防止のため”などという消極的な理由があるのではないはず。未知のものを知りたい、分か

りたいという純粋な思いだけが、新島さんを動かしているように見える。金にも物にも不自由しない今の若い人たちを、新島さんはどんなふうに見ているのだろう。一度、聞いてみたい。 ※大学入学資格検定試験のこと

## 今日の3校時目、上級学校(主に高校)訪問の学年合同学活があった。

これからというか高校を選択するための1つの取り組みだが、ここで勘違いしてほしくないのは、高校に行くために学ぶ、学んでいるのではないということだ。間違っても高校入学をゴール(目標)にしてほしくない。ゴールはもっともっと先にある。そこを勘違いすると中学校生活の学習は鬼苦しくなる。

高校の中途退学者は宮城県だけでも2000人を超えている。その1番の理由は「不本意入学」だ。本人の意志を無視した不本意な入学が多くなっているのだ。それと学習意欲が湧かないというもある。本人の意志が無視されればやる気を失くすのも当然なのだ。宮城県の中退率は全国でもベスト3に入るほどの高率なのだ。

全部がそうだとはいえないが、本人の意志が十分に反映されにくい入試システムと進路指導があるのだと思う。でなければ中退者がこんなに多くなるはずがない。これは先生方にも(もちろん自分も含めて)反省すべきことがあるということだ。

君たちが今、本当に学びたいのか。先生はそれが知りたい。そして、それに応えたいと思っている。

(担)

# 頓 珍 漢

1998年 10月 23日

第25号 発行責任者: 梶野

## 「みんなにつたえたいこと」

10/19

「みんなにつたえたいこと」の

志摩 英美

知っている人が「多い」と思うが、そのあいた、さわたの交通事故で、うちのずんchanがケガをした。その日は、ちょうど、父の日だから、来月レクリエーションで、買い出しにいくじゃんびをして、友だちがらのTELをまっていた。その時、リリリン×2となった、私が「はいもしもし」で「だろ、いとごのおんchanしげしげ」だった。そして、しげしげに「ひでchan知らないの」ってきかれ、「なにが」ってつたっけ。おじいさんけがして、今日の夕方手術すんたっけっていわれ、びっくりしました。TELを切った後、私は1人のきもちでいっぱい。で、なみたがでた。おじいちゃんにせまそうあけておがみ、かみ。様にもあがんだ。今までちょっとやさしくやってあげて、もうかいした。今のずんchanは、元気がいい。みんなにつたえたいことは、お年よりを大切にしたいです。私は前までずんchanに「へもってき」っていわれ、「自分で買ってこい」と言われていました。

でも、今では、「ずんchanたいじょうぶだから」、「ずんchan、かんばれ」と声をかけてあげています。年になるにつけてケガをするかわかりません。みなさんやさしくしてあげてください。

(おしまい)

事故でケガをしたのは先生も知っていました。その後の様子も気になっていました。関係者には、心からお悔みとお見舞いを申し上げます。

さて、今度のことで英美さんもいろいろなことを考えさせられたと思います。

考えているうちに「皆に伝えなければ…」という思いにかられ、左のような日記になったのです。涙を流しながらお釈迦様や神様に拝んだこと、今までもっと優しくしておけばよかったと後悔したこと、それを皆に伝えなければと思ったこと…英美さんの心だけには止めておくことのできない何かを感じ取ったのでしょうか。

英美さんは自分の心に誓ったことを皆に訴えたかったのです。だから、説得力があるのです。人から言われて気づいたのではなく、自分の実体験から気づいたこと、感じたことをあふれるような文章にしてくれたのです。

先生は、励ますことしかできませんが、皆はできるだけ心の支えになってほしい。苦しい時ほど一緒にいてほしいものだ。それができるのが学級なのです。



「あすなろ」で目覚めた

真美

ぼくは、冬(水)にあすなろという

3年前の学級通信をみせられました。

いじめという題名だった。

内空は1人にいじめられた2人が、

1人を殺したという話だった。

ぼくは、この話を家にかえてきてから

もう1度目をときました。

いじめられたから、殺すことは

ないと思った。

いやなら友達に相談とかしたほうが

もう少し楽しくすごせたのではなにかと思った。

学級通信を見たというだけで先生はすごく感激した。

さて、「いじめ」については学級でももっと深く考えてみたい。深く考えるということは、グサリわけでもないし、かこわるいことでもない。「いじめ」を考えるということは、友だちのことや学校のこと、社会のこと、教育のことを考えるということだ。そして1番大切なことは自分のことを考えるということだ。

(担)

先生はこれを読んでちょっと感激した。真美くんが家でもう一度目を通したところ、感激した。

学級通信というのは意外とあっさり捨てられてしまうものです。

だから武田くんのよう、ファミコンやTVだけじゃなく、



# 頼 紗 漢

1998年 10月 26日

第26号 発行責任者: 梶野

## 人の良さは人の数だけあるんだよ。

10/16

・何をきこうかと考えたから、子育てノートに  
ほぼ一冊読破してしまいました。  
お父さんお母さん方の日記もさる事ながら先生の  
1人1人の返事がとても熱心なものなので  
感心しています。

さて、我家でも被褥が壊れせながら反抗期なぞでしか  
見えなくして今日比頃母子ゲンも度々ありますわ。  
今日は息子の自慢話をしつ、おばあちゃんを含めた5人家族で、  
被褥は生きた時からおじいちゃんおばあちゃんに  
生活です。そのおじいちゃんおばあちゃんに育ちながら  
荷物を持ってあげて見知らぬおばあちゃんから おれの電話も  
もらった。最近、道案内をしてから家に帰る時なぜか自転車の  
後に1000円札がはさまっていました。外にも色々ありますわ。教える  
べき親の私が、ちゃんと出来たことある事をあげて、息子に教えるけれど、  
おじいちゃんおばあちゃんも教えるべきことあると思うから、この人おじいちゃんおばあちゃんに  
おじいちゃんおばあちゃんに教えるべきことあると思うから、この人おじいちゃんおばあちゃんに

こんなに素晴らしいことがあったとは 知りませんでした。やっぱり子供のことを  
一番知っているのは お母さんや お父さんなんですよ。

10/20

直人の母

二度目の子育てノート。やっぱりドキドキ。

今日、息子は床屋に行くつもりで早く帰って来たらしいが、  
予約して行ったはずが、先に客が入ったと言ってキャンセル  
帰って来て頭に来ている様です。せっかく時間を潰して  
行ったのに、キャンセルしてもいいのに……。

その分、今夜は夕食も早く、時間もあり、お風呂に買い物の  
行く事になりました。自分のほしい物を見て、買い物もすませ。  
今日は、直人の おばあさんの誕生日なので、お祝いと、

プレゼントに花をかう事に。小さい頃からおばあちゃんに  
してあげた。病院へ行く時など、このおばあさんに連れて行って  
もらう方が多く、育てた母、おばあちゃんです。 (お父さんの妹)  
花が好きなので、花束を買いました。男の子のわりには、そういう  
優しい、遠い、か出来る子供です。

お父さんが今年3月に他界しました。その父にも、線香をあげ  
に、よく行ってくれます。今日はお母さんも、来れたいと思うので、  
家族6人分、6本線香をあげて拝んで来よう息子です。

中学生の子供にとってなかなか出来ない事だ、と思うので、  
このまま、いつまでも素直で、優しい人になってほしいと思います。

雁部くんも直人くんも素晴らしい子 ちだ。真、すぐに育、てることがよく  
わかるし、こういう子供たちが これからの日本を 背負、てほしいなとつくづ  
く思う。

人の心のわかる子、人の辛さや悲しさ、喜びを自分のことのように感じられ  
る子、そんな子が どんどん育、てほしい。先生もそういう子供たちをたく  
さん 育てたいと思っている。でも、やっぱり大切なのは、その子自身が自分  
をきちんと見つめて、何をすべきかを深く考えることだ。自分のことや他  
人のことを 真剣に考えること、そして進む道を 見つけることだ。

先生は、決して雁部くんや直人くんを見習、てほしいと思っているわ  
けではない。人の良さというのは人の数だけあるものだ。そこに気  
づいて伸びていてほしい。もっと自信をもって自分の良さを語、て  
ほしい。伸ばしてほしい。

(担)

# 頼 紗 漢

1998年 10月 28日

第27号 発行責任者: 梶野

## 「いじめ」と「猫」と「オセロ」の話

10月27日 火曜日 担当 → 宇智宮エリカ

※ 題意 ※ 「いじめ」についての考え

この前の学活のときから考えていることを書きます。私は新聞にのっていた記事のような系統のいじめは身近で起ったことはいないと思う。男子はすぐケンカだし、女子もそれなりに嫌がけい、いじめもある(言葉からいじめもある)。でもいってあげられかたと思う。少なくとも自殺とかを考へてる人はいないと思う。このことについては私は藤沢君はかわいそうでした。悪いのはおちかといふと藤沢君と思う。A、B君はいいの弱い人だ。たと思う。そんな2人をそこまで追い込んだのは藤沢君さんだからです。たぶん。私はたぶん、IVの強い人になれたです。力が強くて、気が強くて、ためです。IVが弱くなければいい。悪いのが書きた。 (おちか) まとまりす

長くなっちゃった。

お互いに対等な立場で話ができない、そんな状態の時によく「いじめ」が起こる。お互いの主義・主張を十分に表現できる人間関係とか、学級とかができていると、そういう心配もなくなる。一人の大ボスがいる、周囲が思うようなことが言えないようでは大変だ。エリカさんの言うように強い心がみんなにはあるだろうか？

10/26 うちの猫

うちには猫が3匹いる。前は5匹だったんだけど、1匹は外にでたまかえってこなくなり、もう1匹は事故で死んだ。そこで猫をもうかいしよう。なぜかうちの猫は自然にともなっている。陸、山、海、である。この3匹はすべて猫である。少さくは仲もよく走りまわっていたけど、今では、よくけんかをし、なわはつもついている。おふとこもちがっている。ふっの猫は、にわや、山のほうであそぶが、この猫どもは、根であそぶ。なんと外であそぶことは一度もない。

こんから外であそんでもらいたい。 正規

思わず笑ってしまった。外で遊んだ(?) ことのない猫というのはたぶん相当、珍しいんじゃないの？ しかも「縄張り」をつくられた日にゃ、飼いまもたまたまんじゃない。パート2に期待しよう。

10/27(火)

昼休み

三浦大介

今日梶野先生がオセロをもってきた。それで昼休みに先生と勝負をした。この勝負ははじめのうちは僕が有利だったけど、後の方になってくると先生にづめられてきて接戦になっていった。そして勝負が終って結果は僕が勝った。先生はまわりのおつかうさきからだとしやれそうにしていた。それは帰りの会の時にもいわれて先生はしてもしやれそうにしていた。僕は勝ったのですごうれしかった。

ハッハッハッハッハッ…… (余裕の笑い)。三浦くんは、まだまだ甘い。先生はエサをまいたのだ。いきなり大差で勝てたら、三浦くんもやる気を失くすだろ。だから先生としては最初にわざと負けて、自信をつけさせてやったのだ。ハッハッハッハッハッ…… (余裕、余裕)。あれが先生の實力だと思ったら、チッチッチッ(ガ) 甘い。先生のエサまき作戦にのた周りの諸君、先生は逃げも隠れもしない。いつでも来なさい。いつでも受けよう。 立とう。

(坦)



# 頼 紗 漢

1998年 11月 10日

第28号 発行責任者: 榊野

## 『心の強い人とは?』

～エリカさんの日記に  
対して～

郁恵さんの日記です。みんなはどう思いますか?

11/4 (水)

担当 IKUE



### 『心の強い人とは?』

前の時間に、"心の強い人"とはどういう人が"現王"で  
言えなければ"心の強い人"と"私は"エリカの日記を家に  
帰ってから読みました。私は"どうして"心の強い人  
とは"どういう人が分りません"と"分らない"また"と  
いって"お母さん"に"聞いて"みることにしました。  
そして"お母さん"は"まわりの人の言葉や行動を大切にさ  
う"に、"善悪"の判断が"でき"、"自分自身"、"しっか  
り"とした"心"を"もつ"と"言"って"い"ました。

このこと"で"、"当り"、"はず"と"ある"と"は"が"き"り"ま"せ"ん"と  
私は、このことを聞いて、あ、そうなのかな。  
自分は"どう"かな"と"考"え"ら"れ"る"よ"う"に"な"っ"て"ま"し"た"。

今まで"っ"て"い"う"か"ず"と"る"心の強い人とは?と聞かれ  
た日は、まよってました。これからは、ちゃんと  
自分も心の強い人になり、周りの人にさうされな  
い"で"、"自"分"の"善"見"は"は"き"き"り"言"え"る"人"に  
な"り"た"い"と"思"い"ま"す"。

End

先生も難しい質問をしたもんだなあ。生徒だけでなく親まで悩ませて  
しまった。正解なんてないんだけど みんなで、そして親とも一緒に考える  
ことが大切なんだ。

その点、郁恵さんはものすごく柔軟で素直な心の持ち主なんだと思う。  
わからないことは自分で考え、それでもわからない時は人に聞く。それでもわ  
かんない時は本を読むなり辞書をひくなりすればいい。郁恵さんのえら  
い所は「分からないままだといや」と言っている所だ。自分で納得した  
いのだ。この点が うんと えらいと思う。みんなはどう思う?



11/6 (金) 広輝の母です

いつもお世話になっております。

最近の広輝はとこも生意氣になってきました。

小雨の降る朝、学校へ行く広輝を玄関まで見送った時、

"かき"持"て"行"っ"た"ら"と"言"え"ば、"し"ら"な"い"。

外出する時、"寒"い"か"ら"ジ"ャ"ン"パ"ー"着"て"行"っ"た"ら"と"言"え"ば、"大"丈"夫"。

先日、自由参観日の一日目、仕事前に5分でも思っていたら

"来"な"く"て"い"い"み"ら"な"い"と"言"葉。

毎日、毎日、勉強をしないで、ギターばかり弾いて

試験の前にになると、これには向うけない、勉強10分、休憩20分

何か欲しい物がある時だけ、買い物についてくる。

うまいんだか、まずいんだか、感謝の気持ちもなく

当たり前のように、食事をしている。そして僕のように返ってくる言葉、

「自分一人で生まれて来た顔をして、

誰のおかげで大きくなったと思ってるんだ」

いいかげんにしろ!! と母は怒っています。

広輝がまだ小さかった頃は、早く大きくなりたいかな、と思っていましたか、

今と比べ、お母さん、お母さん、と云って

いつも私のそばから離れた頃が、一番良かったと思っています。

先日、家族で食事に出掛けた帰道、

一人でサッサと歩きながら、何度も後ろを振り向き、

少し離れた私に無愛想な顔で、手をかきとられました。

その手は、主人よりも大きくなっていました。

広輝くんは、まだ小さな窓から空を見ているのでしょう。思春期の真ん中  
中で今は自分探しの最中です。小さな窓が、自分の世界になっているのだ。(組)

# 頼 紗 漢

1998年 11月 12日

第29号 発行責任者: 棚野

(前号のつづき)

昔、松山千春が「小さな窓から見えるこの世界がぼくのすべて空の青さはわかるけど空の広さはわからない」という歌詞の歌を唄っていました。思春期を的確に表現しています。小さい窓だけに雲の流れも鳥のはばたきも一瞬の出来事のように過ぎ去っていきます。だからこゝ君たちはそのひとコマひとコマを脳裏に焼きつけて、これからのエネルギーにすべきです。お母さんやお父さんの言葉もそのエネルギーの源なんですよ。

## すずスケ特集

～すずスケはボーッとしてるか、それともしっかり者か?～

11/10 担当 すずスケ

く 其月末に向けて...

日記のことは聞かなくていいから。

それよりも、モータリに今「きぼう」

をオレはもっている。なぜかって?

計画を立てたのだ。其月末へ向けての!

オレの1日の最高でできる勉強の

時間は30分。それ以上すると

豆頁がイカれてしまう。だから計画を

立てた。テスト3週間前から

1日15分、てーど勉強をするのだ。

お付けで、ケリもつもれは「山とある」

筆で書きた。とーだ? あご(いた)る、。

11/11(木) 鈴木 裕輔の母です。

いつもお世話になってます。

前回の「子育てノート」の時の様に「変なことを書くな」と言われながら監視されながら書いています。「オウの事は書くな」と言っています。でももちろん「オウ」の事を書きます。先生も1年生の時から裕輔の担任をしていて「どうもご存じだと思いますが、うちの息子は「ボー」として性格で、テーブルの上を片付けると言えば、その日の日付けの新聞をテーブルから、ゴミ箱へ……。くつ下に穴があいたと言うので「捨てなさい」と私が言うと、穴があいたくつ下は捨てますが、片方の穴があいてないくつ下は、洗った後へ……。何を考えまっているのか何も考えないのか、その性格のせいなのか、運にも見放されている様で、クジ運もなく、いつも弟が当りを引くという感じでした。ところが今、そうである「子育てノート」を私が書いている最中に、生まれて初めて大当りをしています。今近所に、ほじゅを、裕輔が買いに行きました。500円玉を持つ。帰ってきた裕輔の手には、コーラ1本と、630円のお金、100円玉が5枚、50円玉1枚、10円玉8枚。裕輔は、お父さん「でも、ここへ話が終わらなければ、もう一回買ったらもっとお金がふえるかも」と200円持ったジュースを買いに行かれました。私は「いーんか」と思いつながら待っていると、コーラ1本と、10円玉8枚を持つ。息子は帰ってきました。「あーあ、10円玉が16枚になりました」とがっかりしていても、やっぱり運はいいです。

私の好きな三上 満さんという人は「子どもは白黒まだらだ」とよく言っています。いい所もあれば悪い所もある。また、白だと思っていたものでも光の当て方(見方のこと)によっては、黒い部分も見えてくることがある。裕輔くんもよく言えば「素直」、悪く言えば「単純」となるのでしょうか。

人間みんな完全じゃないから、子どもに限らず大人も白黒まだらということになるのでしょうか。ただ大人と子どもの違いは子どもは「ぐるぐる」とせん階段のようにゆっくりと確実に成長しますが、大人はなかなかそうはいかないということです。子どものような柔軟な発想が大人にはないからです。

三上さんの名言をもう一つ。「教育とは愛のボディフローを打ち続けることである。」

(世)



# 頓 妙 漢

1998年 12月 17日

第30号 発行責任者: 梶野

英でた心は美しい笑顔から...

12/9(水) 英心美笑

英でた心は、美しい笑顔から生れる。

どうゆう人間に育ってほしいと願う「英美」と

命名したのがかれこれ13年前 3,900g、今

体重計に乗っても数字は手で覆ってお教

えない、多分10倍位かな? 10倍の愛情が

心と体につまっている、だから重いんだ.....

先日、童話作家の山崎洋子さんがこんな事を言ってい

た、人とお話し、その人の良い所を思ひ出し自分が

感動する、それによって心が豊かになり、昨日より成長

した気持ちになる、それを喜びで人と一人でも多くの

人とお話しする、今が幸せ.....

人は人によって生かされ、生きているといわれ

ますが、英美には、これから、素直で聡明  
心をも忘れず歩んで行ってほしいと思います。

ウレラの父

人の名前は必ず由来があるし、1つ1つの字にも意味がある。お父さんやお母さんがどんな思いでみんなの名前をつけたか知っていますか? 今まで知らなかった事実があるかもしれません。

12/14 広輝 視線

俺の部屋は右を向いても左を向いてもポスターだらけ(GRAYとSPEER)  
そのポスターが、どの角度から見てもみんな俺を見ている。

こえー。こーしやこえー。どーしよー。みんな見ているよー。

と、言いながらも見られていると、見たいなるのから俺の部屋。

だから、ずーと、目をあわけている。

でも、こっちがはずな、くる。はずきでいる。

みんなさんもや、おぼー。

先生も昔、松田〇子のポスターを部屋中貼ってたからよくわかる。見てる方が恥かしくなる。

12/15 カレンダー 俊介

今カレンダーを見ている。

そして、1年ってあつというまだな、と思った。

1年前のことがついこの前のことのように

思っている。1日(24時間)が365回、これを計算すると

8760時間。とても長いような気がするが、短い。

この時間の中には楽しいことや悲しいことなど

たくさんの思い出がつまっている

短いけど大切な時間なんだな、と思った。

98年も残すところ2週間あまり。"ああ、また年を取る..."なんて淋しいことは考えず、日々充実した生活を送りたいものだ。今が充実している人はきっといい98年だったのでしょう。先生は? もろ3人充実していましたよ。(担)

# 頼珍漢

1999年1月18日

第31号 発行責任者: 制野

## 正規くんちの「山」に突然異変が...

1/13(水) 家の描

今日家の描の描が入院した。まえから  
家で口をいたり様子がおかしかった。  
だから今日動物病院に行ったら、人臓の方  
をわくわくして、急に入院されることになった。  
病院の先生は2、3日で退院できるといわれた。  
早くなおってほしいと思う。

正規

以前、「頼珍漢」で正規くんの家の「陸」「山」「海」という猫の  
ことを紹介したのを覚えていますか？ そのうちの「山」に突然、不幸が...

1/14(木) 家の描

今夜の9時をすぎたところである。それで  
動物病院にいた。今日5時半ごろ新聞配達から  
かえってきて、ごはんを食おうとしたら一本の電話が  
なって、僕が出たら、動物病院の先生で、いきょうが  
急にわくわくしたのだから早くきてくださいといわれた。すぐ  
家の人に言って動物病院に行ったが、ほんのすこししか目か  
いてない、出かいた。いつ死んでもおかしくない先生に  
れた。④「おじいちゃん」の中でそう思った。もっとやさし  
くしてあげようと思った。と思い自分からたくさん話した。

正規

正規くんが「山」が好きなんだなあ。最後の言葉、よくわかる。  
その時にさないと分からない気持ちなんだよなあ。

1/15 家の描

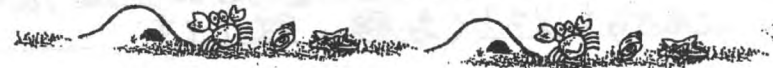
昨日書いた家の描の山が「おぼい」。昨日先生が死んだら  
夜中には電話やんないで朝やりますからと言われた。だから  
今日はちよとししかねむれなかった。朝に電話がなかった  
んてほっとした。お昼に病院に行ったが、昨日よりはよくなっ  
てると言われた。ほんとだった。昨日は、ちよとししか目かいて  
なかったのに、今日はちよとししか目かいていたし、昨日はしゃべりな  
かったのに、今日は、ちよとししか声かいていた。なんだかほっとした。  
でも、先生は、いつまたあつくなるかわからないと言われた。  
1週間は入院はすると言われた。早くよくなつてほしい。

“さんちゃん”にのせかいてたさい 正規

先生は正規くんに“この日記はぜひ載せたい”と言いました。その理由は  
次のようなものだった。

- ① 動物思いの優しい気持ちがよくわかるから。
- ② 本音がよく出ていて、“正規”という人間を理解するのにいいから。
- ③ 自分をまっちゃんと見つめていて、正規くんの成長がよく分かるから。

そして、快く了承してくれたので、今日、紹介しました。  
先生は、何だか、みんなが正規くんを学級委員に選んだ理由が分  
かってきた。誰に対しても優しいから みんなに好かれるんだね。この  
日記を読んでよくわかった気がする。



いつもながら子どもの柔軟さというか、しなやかさには驚かされる。  
先日、娘2人とスケートをやってきた。2度目のスケートだったが、上の  
娘(6才)も下の娘(3才)ももう手も離して滑ることができるようにな  
った。はじめは立つこともできなかったのに、本当にびっくりした。“大人  
の3倍は早いなあ”と思った。次はスキーに挑戦しようと思う。19  
才になってから始めた先生よりは上手くなるだろう。

(抱)



頓 玆 漢

1999年 1 月 20 日

第 32 号

發行責任者：制野

やっぱリ少しずつ成長...

11年1月13日 平塚(望)村

[illegible]

1 何だか父兄工にも嬉しきや 可有  
九曲のや 三三目在つたや

お母さんいっつも泣いてるの血くらいい  
ぬすんでみたらあんなに私にも  
きつたりきつい言葉  
涙のまつい言葉が返って来ました。  
これでも年首の腫れが引くまで文句を言  
てからも年頃でくれしました。この娘は  
心から「ありがと」と面を向けて下さるせんか  
この文を借りて「ありがと」と書いたいたいです。  
先生こんど娘の平成三年生に何しても  
尊敬し切願います。

私はこれを読んで“ああ、いい親子だなあ”と率直に思いました。女の子がだんだんお母さんのようになっていくその姿が私にはとても輝いて見えます。外から見えない部分で大きく成長しているようです。

1月18日 正規の日記を見て、和則

今日、正規の日記を見て自分をいうことがあったのでついしんはいになてしまった。僕も前に鳥を育てていておまじエサを食へなくて次の日に死んでいました。正規の家の猫がはやくよくなれはなあって思いました。

いつもふざけ合ってる2人の姿しか見ていないので、こういう日記を読むと  
"ああ友だちっていいな"と実感することができる。友だちの心に寄り添う  
というのは和則くんのように共感することだ。友だちについてもう一題。

$$\frac{1}{19} (*)$$

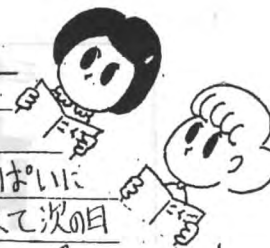
友達とは何でしょう。

今日はちゃんと2人で学校へ来ました。昨日はえっかがお休みだったのて、大変。いつも2人だったから、1人ぼっちでも、昨日1人で、友達はいいもれた。と思った。全然1人ぼっちではなかった。朝は、"1日どうしよう"と思っていたら、ひつとか話しかけてくれた。そして、その1日、えんのかとひつとといた。なにか朝、思っていたことがウソみたい。ってな感じの1日でした。でも、1組は、やさしい人が多いいと思います。あと、1組も約2ヶ月くらいです。もっと、"友達"を考えてみようと思います。

これも考えさせられる日記だ。いつも一緒にいる人がいないと淋しいものだが、そんな時近くにいてくれる人がいると心強い。逆に言えば、いつも近くにいないからって、いつもしゃべってなかったって寂しかったというのとは全くさんいた方がいいわけで、困ってる時も悩んでる時に、そっとそばに寄り添ってくれるだけでいいのだ。

そのことに気づいただけでも 幸鬼さんは 成長したはず。エリカさんだけが 友だちではないのだし、いろんな友だちとちょっといろんなことをしゃべってみるといい。今度、周りに困ってる人がいたら、何気なく近づいていけばいいし、そうすることでも また たくさんの 友だちが できると 思う。

小・中学校は 友だちづくりの基礎も学ぶ所。勉強だけが目的ではないだ。(抱)



頓 珍 漢

1999年 1 月 27 日

第33号

發行責任者：梶野

親の思いを受け止めよう!!

21.11.19 (火)

大分 5 冊

2年1組の皆さんこんにちは。

いづれもお世話になっております

あと2ヶ月ちよとして、2学年も終りますね。

実力テストも終りバスケットの試合では3位になりました。

頰張りまたね。免強の方はそこそこだね。

鬼子も勉強ではそろそろ目ざめて下さい。

これは出来なはずです附.

中学生活最後の1年はすぐ過ぎていきますよ。

スポーツも勉強も悔いのないように頑張れ!!

友だちは大切にしよう。

とにかく中学時代にしか来ないことかたしや!

あると思います。失敗してもいいじゃないか！

まず遺ることが大切ですね。

チャレンジ、そして失敗を恐れず頑張れ //

これからよろしくお願い致します

私もそうですが、我が子にはなるべく「転ばぬ先の杖」を用意したがるものです。私も自分が転んではかりいたせいか、「我が子にはなるべく転んで(失敗して)ほしくない」と思う気持ちが強いのかも知れません。でも実は「転んだこと」が大変勉強になってたし、たとえ転んでも親に叱られたことはありませんでした。我が子の失敗を心から失望し、その上叱る親なんてあったにない(と思う)。

「子どもは失敗を唯一許せる」のが親というものではないでしょうか。だからみんなには失敗を恐れずトライ＆チャレンジしてほしいと大介くんのお母さんは言っているのだと思います。そのことを感じ取ってほしい。



H. 11. 1. 26 (火)

阿部 麻美 母

子育て10ヶ月目... 和則君のお母さんと同じで 書くというのには必ずか  
しいです。皆さんをお読みの方は 楽しかったですか...  
読んでいこううちに、年々差がある兄弟で 結構いるもんだな女。  
と思いました。うち、麻美と弟とは10才違います。赤ちゃんと夏は。  
おむつを取り変えたり。だっこしたり。お風呂に入れてくれたり。かいたが  
てくれて... でも最近では、弟の方もお口も達達になって（口がペラ  
ペラになって）まともにケンカをします。最初は、ふぶけているのに  
お姉ちゃんの方、ムキになって... でも下の子は、半分たのんでいる  
様子にも見えます。（まるで楽しくケンカをたのんでいるみたいで）。  
遊んでもらっている感じなのか... お姉ちゃんマジで おこりに...  
そばで見ていても思わす ふきだしそう... なんて思いませんか？  
でも、弟に手をだされても、やっぱりお姉ちゃん、口で言っても手は  
我知らしている甲です。（負けて勝てますからね）そうかと思うと、自分  
の部屋で、弟とお絵描き？ などなど... あるいは、お姉ちゃんお二人  
は、月夜はお母さんの様な麻美です。ホント、安心して、たのんで、買い物に  
行ったり... ホント、助かっているのです。この場をかりて、いつかあやとうを  
言います。これから先ヨシ？... 子育てしているつもりかしらっている。  
という感じですね... でも最近では反抗期... 中2って  
どう、いう時期なのか... 女の子だって反抗期はあるんですね。  
大人になった時、中2位の時、あんな反抗的だったよ、なんて話す時  
あと何年かで来るんじゃないかな... 時期も宜しくお願ひします。

私も先日、20才になったばかりの教え子(女の子)の結婚式に行ってきました。中学を出て5年。まだ、あどけなさや残るものの立派な(きれいな花嫁さんでした。あっと言う間の5年だったなあと思いました。お父さんやお母さんはニコニコしながらも、少し悲しそうな表情を浮かべていました。

麻美さんのお母さんも 同じような気持ちになるのでしょうか。

(担)



# 頼 妙 漢

1999年 1月 29日

第34号 発行責任者: 棚野

## 挙動不審な日記とタイミングが悪い話

1/27

俊介

今日、消しゴムに毛をうえつけてみた。

おもしろく気持ち悪くなった。

まるで生虫のみたいだった。

相変わらず挙動不審な俊介くんです。実はこの前日の日記ですごい問題発言をしているので、今先生が「質問状を出しているところ」です。(これは後で公開しましょう) それにしても変な日記だ。

1/26 (火)

賢一

今日、そうじの日で、真美君に「体育倉庫に来て」と言われたから体育倉庫に行きました。行ってから和正君と話をしていたところ、さしづけていた。そこに正智君がきてさしづけにされてしまった。

たまたま言葉の後、先生によばれて、「もう一回そうじしろ」と言われると思えた。しかし「校舎内のはかわれているけいじら」をなおせと言われてた。そうじよりらくだと思えたからさしづけはさしづけした。

罰としてボランティアで掲示物点検をもらった。和正くんも同じだったので一緒にやもらった。2人とも頑張っていました。

さて、最近校舎を回って何か気づくことはありますか。ゴミやはがれた掲示物が目立ちます。先生も正直なところ黙って見過ごすことの方が多いのですが、全校332名664コの目で学校を眺めたらどうなるだろう。もっと違った学校になるんじゃないか。

14. 11. 1. 27 (水)

賢一 弟

真夜中の12:00 父親の仕事の帰りを待たせながら、半分眠りながら、この日記を書いています。

我が家は、只今、年子の姉の多岐への進学です。

この一年、娘の多岐に付き合われ、家族は、少しバリエーションの時期もありました。

賢一、本人も、次は各人なりに来り、多岐という壁を越えなくてはならないでしょう。

娘の多岐の会話をやりとりを見て、自分は関係ないといった顔でにやにやして、でも、その録音が自分に向ってくる。決まり文句は、田舎者だからの一言で返ってきます。

どうせ、言われるのは、だれでも嫌なものです。でも、

接する態度が悪く、ある日、お風呂のお湯の熱に、どうも、お風呂になります。

お風呂では、いかでしようか？

思春期の子を持つ言葉で、送って、会話をしたり、変に気づかう自分自身を嘆かぬと思う今日、此の頃です。

私はこの日記を読みながら、本当にそうだなあと思うと同時に、このノートの本来の役割は、賢一くんのお母さんが抱えているような悩みや不安をみんなでも共有していくことなんだなあと思いました。

先日、報道では、高校の学区拡大がほぼ決まり、石巻地区はどうやら本吉地区と一緒になりそうな気配です。(まだ、審判段階なので正式ではありません) 平成13年度から実施したいと考えているようなので、この学年には、直接、関係ありませんが、もし弟さんや妹さんのいる家庭は、その影響が出てきそうです。(少なからず学区の相互乗り入れも認められるようなので、実質的には、全県一区と考えていいようです。) 「多様なニーズに応える」というのがその主旨のようですが、実際には、選抜肢がたくさんある生徒は限られています。中教審(中央教育審議会)でも言われているように、受験競争が緩和するのか心配です。(担)

# 頼 妙 漢

1999年 2月 1日

第35号 発行責任者: 梶野

## <ぜひ みんなに考えてもらいたいこと>

1/26

らかな日とつらい日

俊介

今日の授業は5教科が全部あったのでつかれた。  
それにくらべて木曜日は実技教科ばかりだ。  
なぜこんなに勉強する日と勉強しない日の差が  
あるんだろうと思った。

俊介くんに質問します。

① 俊介くんに、実技とは勉強ではないのですか？  
と？

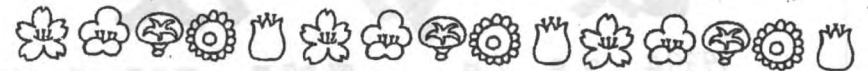
② 俊介くんが「勉強した」と思うのはどういう  
時ですか。

① 僕にとっての実技は勉強じゃないというわけでは  
ないけれど、実技は5教科とちがって友達といっしょに  
かたりして楽しいから勉強をするという感じではない。

② 僕が「勉強した」と思うときは、わからない所が  
わかったときとか、長い時間勉強したときです。

わざわざ答えてくれてありがとう。この頁に書かれている  
ことはウソはないし、本音だと思って受け止めた。  
それと、これからもう少し成長した俊介を見て  
みたい。

今回はぜひみんなにも考えてもらいたいことがあったので、左に私と  
俊介くんのやりとりを原文のまま載せておきました。まずはじっくりと読  
んでみて下さい。



言葉の問題だと言ってしまうと確かにそうなのですが、先生はそれだけでは  
ないと思います。しかもそれは俊介くんだけの問題ではないのです。その  
問題を整理してみると。

- ① 主要5科目(国・英)は勉強で、他の4科目は勉強ではないのか？
- ② “友だちと楽しくやりたり” “一緒にやるから” 勉強した感じがしないのなぜか？
- ③ ②の逆) 勉強の感じというのは一人で長時間やることなのか？

etc

勉強というのは本来、みんなが楽しく何かを学ぶことで、その時一人で悩  
んでいるよりは2人、3人...大勢で知恵を出し合った方がよりいい案や解  
決策が見つかるはず。だから俊介くんだって みんなでワイワイがやがやし  
ながらも お互いに何かを学んでいるはずなのです。でもその時、授業とは全  
くかけ離れた話(雑談や私語)だけに終始したのでは、本当の授業とは言  
えません。授業に熱中(集中)した中での雑談は、許されるはず(ただし、先  
生が話している時は別だけど...)。

それから俊介くんが言ってる事の中でうんと大切な所があります(今日の本  
題)。それは「僕が「勉強した」と思うときは、わからない所がわかったとき  
」と言っていることです。全くその通りなのです。ということはわからない所がわ  
からないままならばそれは勉強(学習)は成立していないということになり  
ます。実はここがうんと大切な点です。わからない時はわからないと  
は、まり口に出して言うこと。これが勉強(学習)にとっては大切な点で  
す。この基礎ができていない人はこの先、いくら努力しても徒労(ムダ)に終  
てしまうことが多くなります。先生は断言します。

“わからない時(所)は わからないとは、まり言えること”  
これが学習の基本です。“恥ずかしいから” “言いづらから” 何も言えない  
のであれば、その人の成長は望めません。“わかったふり”をして、その場を  
やり過ごすのであれば、その人の成長はそこでストップしてしまいます。  
今この学級では学習が成立しているのか、どうか...残り2か月、点検  
してみてください。

(抱)



# 漢 夢 頓

1999年 2月 2日

第36号

発行責任者: 棚野

## 世界最大級の「すばる」から考える

### 宇宙観の革命めざして

すばる



「すばる」は、人間が宇宙に望む、人間の考え方に限界をもちあててきた。ハワイ島マウナケア山頂に完成した日本の大型望遠鏡「すばる」は、それに新たなベシを加える可能性を秘めている。

理科年表の「天文学上のおもな発見」と「すばる」の欄を開いてみよう。

最初に見えたるは、地球から月までの距離を計算した古代ギリシアのヒッパルコスだ。古代天文学を大成したエジプトのアトレマイオスや、地動説を唱えたポーランドのコペルニクスなどが続き、十七世紀に入ってドイツのケプラーやイタリアのガリレオ天文学の巨人が並ぶ。

十九世紀にかけて目立つのは、周期星を見つけたハレーや天王星を見つけたハーシェルなどイギリス人の活躍だ。二十世紀は、宇宙が膨張している証拠を見つけたハッブルやアメリカ人が躍進する。

十七世紀以降の天文学は、望遠鏡の発達とともに発展した。一つの頂点が、一九四八年に米国人ロバート・ミナに完成した「五メートル」の望遠鏡だ。

日本がその十二年後につくった国内最大の望遠鏡の口径は一・八八メートル。当時の実力では精いっぱいだったといえ、これでは、とても勝負にならない。

「すばる」は、二つの反射鏡をもつ「すばる」は、日本が初めて持つ最高級の光学・赤外線望遠鏡である。先進米の技術で、鮮明な写真が公開された。道員立ては上々、あど天文学者の知恵と腕が試される。

「すばる」には、ハワイ島が多い。八級では、米、英、カナダなどが共同運営する「すばる」天文台がハワイとチリに二台、欧州天文台がチリに四台つくる。

大型望遠鏡は五級級のヘルで設計と考えられていた。望遠鏡の裏から光がこぼれ、光は、大気のためぼやけてしまう。これ以上望遠鏡をあげても、ピントが合わないと考えられたのだ。

地上ではもう無理だからと宇宙に飛出したのが、米国のハッブル宇宙望遠鏡だった。それがいま、再び地上の大型望遠鏡も加えた観測競争時代を迎えた。コンピュータ制御技術の発達で、大気のためを軽減してできるようになったのである。

大型望遠鏡は、何をもちたしてくれるのだろうか。

口径四メートルのガリレオの望遠鏡は、木星の四大衛星や金星の薄れ欠けなどを次々見つけ、地動説に根拠を与えた。太陽以外の恒星は、天球に固定されたものという考え方は、ハレーによってくつがえされた。恒星が季節によって見かけの位置を変えることを見つけたのだ。

一九一七年にできた米国立ウィルソン山の二・五メートル望遠鏡は、わが太陽が天の川銀河系の端にあることを突き止め、似たような銀河が宇宙には無数にあることも明らかにした。宇宙が膨張し続けているという、それまでは想像でしかなかった発見も、この望遠鏡の成果だ。

「地球が宇宙の中心」と考えるのが当たり前の時代から、私たちの宇宙観は大きく変わった。

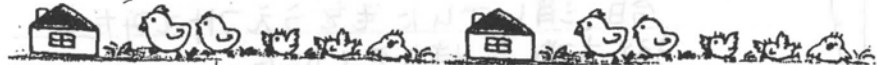
「すばる」が、わがらに迫る太陽系外の惑星系を探索し、地球の同類を発見すれば、人類以外の知的生命体が存在する可能性が一段と増す。

「すばる」の総工費は四百億円。国民一人ひとりが四回ずつ出した計算になる。そのオーナーである私たちは、ルネサンス望遠鏡からの報告をのびり待つ。

### 天声人語

ハッブルの「すばる」の望遠鏡が、ウナケア山頂から初めて届いた「星の便り」は、なかなかのものだった。オリオン星雲の「星の便り」が、いわれれば鮮やかに写し出されている。やがて誕生した星の雲が、これらに現れるのか、夢がふくらむ。▼きのう発表されたのは、日本の国立天文台が建設した大型望遠鏡「すばる」のお披露目の画像である。いま天文ファンは目を凝らしている。米国のハッブル宇宙望遠鏡にひけをとらない性能といえる。▼「すばる」には、世界の技術が結集されている。製作の主体は日本の三菱電機だが、反射鏡は米国のコーニング社に特注、鏡の研削機はドイツのシーメンス社、ドームの製作はカナダのコースト・スチール社が担当、といった具合。▼直径八メートル、厚さ三十センチの、ペラペラの鏡を成形させるには、いかに支えるかが難問だった。二百六十一本のロボットの手で持ち上げてコンピュータ制御する

ことで解決した。「精密重工業」とでもいふような新技術分野である。▼もうひとつ難関があった。一九八五年に計画が持ち上がった「すばる」は、日本が初めて、よその国に建設する国立研究施設だった。前例のないことにためらう当局が、予算を認めただけは九一年のことだ。「禁止する法律がない」と結んだ小平桂一さん（現在、国立天文台長）たちの情熱が、突如として工費四百億円という巨大施設をめぐって、国会議員や担当官と小平さんの間でこんな会話がもった。「外国でもやってくれるか」「ええ」「では、お金を出して借りたところか」「いや、文化は自ら担うところに意義がある」。科学そのものの感動を文化と考えてもらいたかった。▼星のすばる（フレアズ星団）はハワイ島で「マカヒイ」（小さな目）という。太陽宙からみれば、すばる望遠鏡も小さな目だが、人類の宇宙観を大きく変える大きな発見を期待したいものだ。



昨日、みんなに「考えてもらいたいこと」をお話しました。わからない所をわがらうとするのが人間で、わからない所をそのままにしておく人間はいつまで経っても成長しないことを話しました。

そして、話の中で「すばる」の話をしたので、今日はその記事を二題載せました。左の記事には天文学者や望遠鏡の歴史と宇宙観の変遷が上の記事には「すばる」に関する技術のことやそれを建設・実現させた科学者たちの姿勢などが書かれています。

特に、上の記事中の小平さんの「文化は自ら担うところに意義がある」という言葉は、ずっしりと重みがある。

知は文化である。知ることとは文明をつくり、文化を形づくる第一歩だ。「すばる」は日本人、いや世界中の人々と科学者の「知りたい」「わがらいたい」という心の結晶だ。そういう心がなければ「すばる」は完成しなかった。いくらお金があつて「知りたい」という欲望がなければ何も成し得ないのだ。みんなにもそういう気持ちだけは、持ち続けてほしい。



そう言えば、教室に置いてある「Master キートン」の何巻目かにキートンの恩師の話が載ってます。空襲警報が鳴る中でも講義を止めなかった先生の話です。「人間はどんな時でも学ぶことができる」ということが書いてあります。ぜひ、読んでみて下さい。ちなみにその先生のあだ名は「アラン・ポール（鉄のこうろ）です。」（担）

# 頼 妙 漢

1999年 2月 6日

第37号 発行責任者: 梶野

## 日本語のすばらしさを認識しよう!!

いつもお世話になってます。友美の母。

今度ノートが回って来たらこれを書こうと決めていた事があるのでそれを書く事にします。

最近、テレビを見ていて前にもまして気になる事があります。

それは言葉の使い方です。

話しのお手本となるべきアナウンサーまでもが「えー」と思うような言葉使いをしているのを聞くと同じ日本人としてなんたかなまけになります。

たとえば例を上げると「ぜんぜん〜でない」という言葉です。これは、本来はうしろの意で使われるべきものの、逆に肯定の意味で使われていたりして。

それに、キレる、でかく、などなど私が中学生の頃とはかなり変化した言葉が多く、むしろ日本在住の海外の方のしゃべり方のほうが本来の日本語の美しさを持っているような気がするのです。

言葉ってすばらしいですね。

でも使い方をまちがうと相手を傷つけたりがなしました。2年1組の生徒さんたちはどうですか？

私は娘たちにも、もちろん他の生徒さん達にも日本語のすばらしさをでまねばもっと認識して

ほしいと思うのです！

だって、せっかく日本人に生まれたんですから。

「全然」という字を調べてみると、一般に全否定（全く〜ない）の意味で使われるようですが、俗に「非常に」という意味にも使われるとも書いてあります（1981年、三省堂の「新明解辞典」）。

ただし、現在は「俗」の方が主になってしまい、私たちの感覚から「おかしい」というのが消えつつあります。「言葉は世に連れ、ということでしょうか。

井上ひさしさんは、話し言葉の乱れは いずれ自然淘汰され、実際に使われるもの（有用なもの）だけが残っていくと言っています。それと話し言葉の変質と言っても、日本語の根幹を揺るがすほどの変質ではないと言っています。

先週、読んだ新聞（朝日？）にも「らぬき言葉」のことが載っていました。もともとこの「ら」は「可能」と「謙譲」という2つの意味があって面倒なものだとして、「らぬき言葉」を擁護していました。

（実は、最近はこの傾向になりつつあります）

それよりは（言葉よりは）「心」の問題の方が心配です。昨日、夜のニュースステーションの「最後の晩さん」というコーナーに山田洋司監督が出ていました。その中で渥美清さんが駅でキップを買いそびれている時に、後ろから若い人に「おじさん、こうやるんだよ」と言われて買い方を教えてもらったそうです。ただその時の言葉の違いがうんとうさんくさそうだったことに渥美さんはひどくショックを受けたようです。言葉そのものよりもそれを発する人の心の方が大きな大きな問題を抱えているのではないのでしょうか？

~~~~~

高校時代、漢文の先生に「寸鉄殺人」という言葉を教わりました。「寸鉄（短い釘のこと）でも人を殺すことができる」という意味で、乾いてちょっとした言葉でも人を傷つけてしまうという意味で使われます。友美さんのお母さんが言っているように、日本人に生まれた限りは、ぜひとも日本語の美しさ、素晴らしさに触れてほしいものです。そのためには「本」をたくさん読むこと、活字にいい触れることが大切です。

頼 妙 漢

1999年 2月 8日

第38号 発行責任者: 棚野

《コヤジくんの「決心」と栄父の??》

2/5 担当 さがすけ
く 決心 せし...

今日の合同朝の会で 僕は
『今年末テスト』に向けての「決心」
を發表した。(あー 恥ずかしかった...)
そして... そのあと 棚野先生がこう言った。
『反省 せけなうサルでもできる!!』
『「決心」 だけをして そのあとに
反省もする...』ということが 110ター
ン になって いる人が いる...』
その言葉が 僕の「心」に つかささった...
(あぁ...!! 111ター...!! 112ター...!!)
まさに 僕に 対して 言っているような
ものだ... と思った...

「決心」と「反省」の 繰り返しのだけでは 成長しない。その間に 何
をしたかという過程を考えなければいけない。できなければ(分からな
ければ) なぜそれができなかったか、逆に できたなら なぜできたの
かをきちんと 分析しなければいけない。「決心」と「反省」を交互
に 繰り返すだけだったら、何も努力してないのと同じだ。

だから わからない時には わからないと言い、わかった時には わかった
とはっきり言えばいい。ズルズルベッタリ、ナァナァでは ダメだ。

2/7 (日)

久々 回ってきました 子育てノート!!
例のごとく「おとうさん 書いてくださいん この前
は私が書いたんだから...」と妻
約2年分のこのノートを見て 思いました。初めの
うちは 皆さん 文章を書くのがにがてで むずかしく考
えていた様子が 感じられ どの親も同じだなと思っ
ていました。

ところが、回を重ねるうちに それぞれの家庭の様子、
考え方が 表現豊かに文章につづられ、読んでいて 楽
しく、又 子育ての ヒストリーとして 大いに役立つ「参考書」
に 変身して いた事に おどろいております。

毎回の 棚野先生からの おペフ コメントは、「ふむふむ
なるほど」と 腕を組んで うなずきながら 読ませて もら
いました。

この子育てノートは 実は「親育てノート」だったの
では? 棚野先生??

さかえ 父

栄くんのお父さんの文を読みながら、なぜか 私が最初に ノートに書
いたことを 読み返してみました。そう言えば、以前 どこかで「子育ては
親育ちの過程だ」みたいなことを 書いたなぁ と思ったので...

実は このノートの 役割は 親が親として 育つその道すじを 記録す
るものなのだと思います。私自身 人の子の親として 大いに 学ばせて
いただいています。私も親として 少しずつ 成長してるような気がします。

それと もっと大切なことは、私も 親育ちの過程を 皆さんと 歩み中で
教師として 育てられているということです。私が このノート を続ける理
由の1つは ここにあります。

学校や教師が 真に 地域の礎として その役割を果たすーこれは
「先生」「教師」という 仕事の宿命です。それを 自覚できない 教師は
「先生」と呼ばれても「先生」ではない。「先生」という お面をかぶった
ただのサラリーマンになってしまう。

(日)

頼 紗 漢

1999年 2月 15日

第39号

発行責任者: 制野

最近の子供たちに物申す!!

2/13 (土)

今度はアンの番。女房にそう言われてペンを取りました。最近直人を見てると、自分の中学時代と比較して見るがあり。自分はこんなに勉強したかなあ。こんなに真面目にサッカーや駅伝(スポーツや物事)に取り組んだかなあと思ひ。親バカなの妙に感心して、息子が誇らしく思ひます。私は息子二人に対していつも言っているのは、とにかく悔いの残らない様に何事でも一生懸命やれとだけ言っています。自分がそうであった様にとにかく自分の出来る限りの力で一生懸命やれば出来なくても不思議に悔いの残らないものなのです。最近の子供達にはこの一生懸命が欠けているように思ひます。(間違ったらゴメンナサイ)今私は父ですが、この年になっても一番思ひ出に残っているのは、中学、高校時代の友達の手・クラブの事です。この子育てノートを企画された制野先生の情熱ある指導のもと、このまま『一生懸命』頑張って悔いの残らない中学生活を送ってほしいものです。

直人の父でした。

最近の中学生(小学生)が弱いもの

- ① 忍耐力 … 耐える力、1つのことをやり通す力
- ② 表現力 … 自分の思いや願いを相手に伝えること(力)
- ③ 団結力 … みんなで何かを成し遂げる力

この3つは明らかに低下しているし、そう実感させられることがたくさんあります。特に、①は深刻です。私なんかは家が農家なので14あたりで耕うん機をあてがわれ、子ども心に「働くのは大変なんだなあ」「がまんも大切なんだなあ」なんて思ったものですが、今の子どもたちは、

1/17 (土)

おめでとう!! バレー部 県大会出場!

2/14 (日)

たんとう → さちん たん - ン。

祝!! 県大会出場!!

津波勝は去年1でストレート負け。上位3チームの県大会で、青葉と3位決定戦。「ぜったい勝ってソニーにTEレしよう!!」1セット目、みんな落ちついて万中。そして2セット目。「ニコ」勝った気になったらおしまいだよ!!」ひとの一言。前半は万中がリードしてたんだけど、だんだんぐわぐわイきて、タイムの時には、秋生先生が「ニコでかんはんねっけだめだぞ!!」って言われたけど、もううし!!」って時に笛がなってしまいました。1セット目だと思ひ、かんはんはうね。3セット目は……。表情も明るくなってきて万中のアコースにのって万中勝利!! 笛がなったとたん「やっ!」とよきゃ県大会だ! キゃー! キゃー!!」ホントに苦しかった。みんなかんはんはったね。またソニーにTEレしてリサなんが何言ってるのかかんはんはうらいコーンしてました(笑) でも、バレー部28人みんなかんはんはった2日間でした。県大会もニコ調るぞ! かんはんはうね。そして、先生ちや車をいしてくれた親のみなさんへ、ごろうさまでしん。

秋生先生も代理ですごく燃えたようですね。これまでのいろんな努力が実を結び始めているようです。律子さんには何よりのクスリです。

※ そういう体験が少ないのか、1つのことを耐えて耐えてやり通すということができません。放っておくと「水は低い方に流れ」、気がつけば後には何も残ってなかったということになりかねません。親の働く姿が家庭や地域から消え、後姿が見えなくなったという人もいます。

しかし嘆いてばかりでは いけません。社会が どうなろうと粘り強く、自分の信念を貫く。そんな強い人間に育てなければ……。

(抱)

頼 妙 漢

1999年 2月 17日

第40号 発行責任者: 棚野

もうすぐ3年生! 準備はOK!?

2/5

〈もうすぐ最上級生〉

今日は生徒会があって、3年生の送る会についての話だった。あと4週間くらいで最上級生になってしまいます。

執行部でも幹事執行部になって、自分たちが先頭に立ってがんばっています。でも何では旧執行部がなつかしく思えます。この頃はいつも会長にたおてはなかりでした。今はもうたおてはなかりなんてことできません。そんな僕もこの二年間ですごく成長したなあ、と思います。でも、まだまた子どもです。これから一年間でどう成長していくのかなあ、と思います。高校入試をいう目標に向かってがんばっていきたいと思います。

早いもので2月も半ばが過ぎました。3年生も入試まで3週間を切りました。あと1か月で修了式です。

直人くんのように、今までの自分や生活を振り返る時期が来ました。皆さんはいかがでしたか? 日記を書くのもあと1人につき、3~4回だと思うので、その辺を中心に綴ってみてください。

さて、直人くんは2期1年3か月にわたって執行部をつとめてきました。生徒会の裏方としてみんなを陰で支えてきました。人には言えない苦勞がたくさんあったはず。昨日もみんなが帰ったあと遅くまで残って「送る会」の準備をしていました。こういう人たちがいるからこそ万中は支えられているのだということを感じ取ってほしい。そして、一緒に成長して行ってほしい。

そういう意味でみんなは3年生になる準備はできていますか?

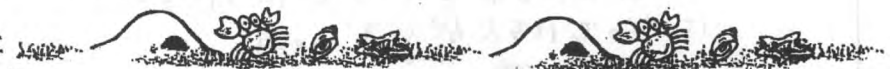
〈祖母から教えられた宝もの〉

2/15(月)

「お母さん、子育て一書いてー」、「今台所の片付け、終わってばかり〜」、「いっしょに何でも早く終わらせて、全員にまわらなくするから〜」と阿利と笑っている娘。早くもので祖母が七十五から六ヶ月にばばとしています。娘も私もよく、家のガスを締めたり、片付けたり、家事を担がうまくでき、少しづつ余裕が出てきています。時には夫が台所に立って料理を作っている時と、娘達が喜んで「お母さんお疲れ〜」と言っている時も、何か温かいものが流れ、家族の絆を強く感じ、私自身も頑張ろうと心がけられます。佳奈の人も思いや優しい気持は、祖母から教えられた宝物です。これが思い出の気持ちを大団に育っていてほしいと願っています。

佳奈の母

お祖母さんの残したものは大きかったですね。亡くなって失ったものも大きかったけれど、逆に大事なものが得たのですね。お金やモノは失くしても、人の心だけは形を変えながら残っていくものです。お祖母さんの死が決してムダではなかったというのがよくわかる日記です。佳奈さんの体の中にはお祖母さんの血が、脈々と流れているのですね。



私の家の物置には味噌部屋(ミソバヤ)があります。今はもうあまりないと思いますが、家では今でも自家製の味噌を作っています。モノの性質上薄暗くて、じめじめした部屋というのが相場です。家も例外ではありません。小さな子どもにとってはちょっと怖い(そうな)部屋なのです。

そんなこともあって私は娘たち(3才と6才)がケンカをしたり、何かいたずらをした時に脅し文句で「ミソバヤに入れるぞ!!」と言うと、とたんにおとなしくなります。

そして、先日、下の娘が保育園で次のような会話になったそうです。

娘：お父さんね、おこると「ミソバヤに入れるぞ!!」って言うの。

祖母さん：あ、そう。怖いね。咲ちゃんは「ミソバヤ」って知ってるの?

娘：うん。カニのミソとか いっぱい入ってるの?

祖母さん：……。



どうやら私の家の味噌部屋にはカニが住んでいるようです。

(相)

頼 妙 漢

1999年 2月 19日

第41号 発行責任者: 梶野

"学校でいいとこだな"の日記

2/17 (水)

広輝

今日は、学校を休んだ。ただの休日なら、遊ぶ友達がいるから楽しい。だけど、今日は、みんな学校俺休み。

いっつに学校いってると、休みたい。

でも、休むと学校にいきたくない。

休むじいとも思う。学校で、...とこだなー。

学校はいろんな人の集まりだ。気が安まるのも疲れるのも学校だ。それでも家で一人ぼちでいるよりはいい。一人でいると自分が成長してるんだか、退化してるんだかわからなくなる。広輝の日記はいつもユニークで考えさせられる。

2月18日 しげや先生 和則

今日は、じゅくが終って8時30分にローソンの前の信号でしげや先生が運転をしている車を見ました。そのときは赤の信号でしげや先生は一番前で止っていた。あのマユモはしげや先生だてすぐにあがっていった。8時30分なのでしげや先生は、ざんぎょうかなと思いました。

渋谷先生は遅くまで残って君たちのテストを作っていました。まだ慣れていないから大変なんだ。和則くんの目も頭もどんどん成長してる。それにしても「まゆモ」でわかるというのはすごい目だ。

2/18

みんながんばってるなあ

后川 正智

もうテスト2日前です。この学年は、みんながんばって勉強しているの。すごいなあ〜と思う。自分はがんばっている人1にくらべると、勉強の量がたりないということは、自分でも分っているのですが、なんとなく、順位を上げないとか、点数を上げないなどのプレッシャーがあり、勉強する気になれません。みんながんばってるなあ。自分もがんばらなうぞというふうに思うようにします。

人を蹴落とすのではなく、鍛え合って向上していく...そんな雰囲気のある学年だ。中学生も1年こうがんばってるなあ。

2/18 (木)

真弥

今、僕はテスト勉強をおえて、この日記を書きながらリングを見ている。(PM 10:02) ちょっとはしゃがな〜。

「目」のまた、このリングがゴワ〜イ! 日記をかいていてもTVにまらがい(見)が……。先週のリングを見た時も、ベットに入りながら見ていたけど、後ろにたれかいるように、何回も後ろをむいて(見)ました。

ビビッタ所。

今も、ビビッテしまいました。

2日後には、期末テストがあるのでこんなことでビビらないように残り2日おじかいけどがんばろうと思います。

ビビッタ所。

(日記でないような……)

終わり

「ビビッタ所」というのはあまりにもリアルでいいなあ。ビビりながら書いてる君の顔の方がよほどビビリそうだ。

一昨日、2番目の娘が保育園から服と手を汚して帰ってきた。少しバトバトとしていた。そして連絡ノートを見てビックリ。何と保育園の台所でいたずらしているうちに、「ごきぶりホイホイ」ならぬ「ネズミホイホイ」に引かれてしまったとのこと。その時の娘の言葉。「すすすすっげえ〜びびびびびび、ししししした〜」 (相)

頓 珍 漢

1999年 3月 1日

第42号 発行責任者：梶野

■皆さんは娘や息子を信じていますか？

2/25 裕輔の父

制野先生 初めまして いつも裕輔が お世話に
 なってます、私は仕事柄 月に 3~4日ぐらいしか夜家に
 いないので「子育てノート」が有ることも今日初めて知りました。
 裕輔は自分に似て、のんきな性格なので 生活面や勉強面で
 よく妻に叱られていますか、自分の中学生の頃よりは、よほど
 しっかりした、考えをもっていると思います。

この前妻に「もっと弟に優しくなさい」と叱られていましたわ」

裕輔は、優しい子供です。ただ上手に表現出来ない。

ただだと私は知っています。

妻にあまり叱らないようにと、言っていますが毎日子供と

一縷にいていららする。妻の気持ちもわかります。

だから家にいる時はなるべく祐輔の味方に成ってあげたいと思っ
ています。

今日三者面談で、先生や妻に言われた事を、裕輔成りに
考えて進路を決めた様です。

これからも裕輔を信じて応援して行きたいと思います。

表現も大切ですが、もっと大切なのは「ハート」です。こ、ちがなければどんな表現も美しくありません。お父さんは、その辺をよく理解なさっているのだと思います。ただし、これから もっと広い社会へ出る時には、もっと自分を表に出すことも必要です。そのため
の訓練も うんと大切になります。

“ドキドキ”なるほど…日記ももう少しです。

2/25 担当 すず"スケ

＜三者面談＞

今日、僕は「三者面談」があった。

PM3:15 ~ 17:00 (PM3:00 17:00 17:00)

僕はあまりに ぎんちょうしていたので

た"11たい PM 3:00くらゐの時から

待っていた... (PM 3:05 ドゥカン ドゥ...カン)

僕は3, 4番目くらいだ、だが、

僕の前は15分間くらいあってた...

(PM 3:10 ドクドクドクドク) ← スピードアップ中

そのために毛11丁115分間か"とても長く

感じた。そしてついに制野先生が来た!!

(PM 3:15 $T_1, T_2, T_3, T_4, \dots, T_n, \dots, T_{\infty}$!!!)

その後は きんちょうも たんとんとなくなつて

さて、11, きに、楽になった... (終了後... フウ...)

かなりつかれた。三者面談、たった……。

$$2/25 \text{ 或 } 1/12.5$$

四女宇熟^{マコト}君^{マコト}について 記入者→斎藤の?々。 *

ちよと前まで国語の授業が「四字熟語」を習っていた。

今日も、国語の小テストのようなもので「四字熟語」が出た。

※4は、危機一髪の一石二鳥「たば」の「コトバ」を知っていたけれど

授業をうけて、いふた種類が"ある"を知りえた。たぶん"ア"が選りた
とが"いふた"言葉が"ある"とが、自筆自得でいかに同じ字が"ある"とが。

しかも、四文字熟語の1つ1つにちゃんと、ふか〜い、意味があつたぞ。

それ+唐紙と、「紙多味」と思ふより+口ニラハコトハ「の」前ニケイ、てす!!

てあふね口

$\langle \text{end} \rangle$

友人の日記は 1つの出来事をぐと煮つめて書いてあるのだからなかなか
 読み応えがあるなあ。三者面談のドキドキ感や 四文字熟語の意味が
 わかった時の感動が とてもよく 伝わってきます。日記の書き方もだ
 んだん 様になってきた。残り 4週間ほどどんな 日記が 飛び出すか
 楽しみだなあ。

(担)

頓 珍 漢

1999年 3月 2日

第43号 発行責任者：梶野

＜超ハードな月曜日でした。＞

3/1

策

今日は月曜日だったので朝会がなかった。

そして、僕は、策校の合格者として名前を上げられた。

「はいね、ちゃんとおんじをじょうしき思っていたのに。」

11番: 太は「靴をみると、声を出さなくて、泣きけりへん

いをしてしま、た、そして校歌歌のときを声を出せず

何度も練習する、たいていこのことにはなってしまう、という

4) おもいをしてしまった、もうこんないやなおもいはし

たぐひに つぎに歌うことは、1発でお知らせする。

ようにしたいと思う。

先生も嫌な思いをした。なんであんなにしゃかりきになってやらなければならぬんだろう。みんな普通にやればいいのに。一体誰のどんな声や言葉が気になるんだろう？ “あいつまじめくさって” などと言う下劣な人がいるのだろう。そんな人の方こそ、よほど卑劣な人だ。歌う資格もない。歌わせたくもない。

3/1 (A)

3/1(月) いろんなマユがあった1日だ"けど"...

「ケーキを食ハテ物ナドモ」 早稲田エリカ

昨日なんとなくT-キを買ってもりつて着た。(イチゴのショート)

そいなり今日親せきのおはちからが「千コ」ショートも10個も買って来てくれた。

板になるし安くなるからた"そりです。3個くらい食"てしまいました。

よく考えておれよ"今日は返事、校歌の練習をがんばったから"

マレはきょとかいって自分ので「ほろひ」だーと男いました。

私はいつも いろんな方に 人生はけろろ平等なんやなと

思っています。(これはマンガのマジックワードで読んだ)

これにたいがい当たっていると鬼方のです。人生楽ありや苦ありの

「苦しいとかがあるから楽しいとかが倍に感じられ、楽しいとかがあるから苦しいとこも楽に受けられるんだ」と思っています。

今日ほんの幸せで"レ"の生きてゐたあと思つた。"マ"なさいな"マ"で"も"

幸せに感じるのっていいことなのだと思っていました。

(自分が何してるのかわからない) ケーキおいしくさいまし。

2の1は 昨日、放課後 体育館で 1時間 30分、み、ちりと返事と校歌の練習をした。4時頃、聞きに行ったら もう 歌は すぐ、な、て、いた。男女が 体育館の 端に 分かれて、お互いの声が届くように、や、て、いた、よう、で、学級委員も 気合が、入、っていた。来週が 楽しみだ。

2/28 (日)

“勉強した”

今日は、日曜日、いつもだと、ずっとゴロゴロしている

けど、今日は、ちょっとちがった。夜、夕食を食べた。

あと、部屋に行ってTVを見ていたら、なにげなくつくえ

を見てしまっ。少しだけ勉強した。日曜日のと。

テストが近い時、いかに、せうた、勉強しないのに。

なぜか勉強した。でも勉強したあとすぐ

気持ちよかった。

机が真弥くんを呼んでたんだよ。それは。テスト前だけ、こき使われて、
きつと淋しかったんだ。"どうせ、俺らは 使い捨てだ。用 なければ"
ただの箱。あ〜ご主人様、早くこっちを伺いてくれ〜!"と 思っ
ていたかもしれない。みんなの机も たぶん 同じだ。



先日、上の娘の学習机が届き、さ、そく私の机と並べるように備えつけた。娘は棚の上にお気に入り「魔女の宅急便」などを入れて、お気に入りの様子。今は毎日、机に向かってノートに絵を描いたり、本を読んだり。「お利ロさんだ」と思いながら、ふと机の横を見るとプリクラのシールが「べったりと貼られているではありませんか。あ」――（抱）

頓 鈔 漢

1999年 3月 4日

第44号 発行責任者：梶野

手を上げて答えたら気持ち良かった!!

3月2日

三浦大介

今日朝の会の時に第1里予先が成績の事について言っていた、それはテストの点数だけでなく授業中の態度しかでも成績が上がるに言っていた。僕は社会の時習明しかの時習にせっきょくきに手を上げて覚えて見たそうしたら気がずか上がったので今度からせっきょくきに手を上げたりしたいと思う。

成績というのは テストの結果だけで 決まるものではない。普段の授業への参加態度や姿勢、提出物、宿題、挙手の有無 etc. 先生たちが 評価する 規準は いろいろあるのです。テストだけで 判断するならば、先生などは いらず、コンピューターだけあればいい。

しかし、それでは味気なさすぎる。人間味のない評価、冷たい評価になってしまう。それよりはもっと温かく血の通った教育、授業、評価の方が君たちも納得するはずだ。それともテストだけで判断してもらってもいい？ そんなことはないはずだ。

授業ってというのは 先生と生徒が心を通わせる場、コミュニケーションを深める場、しっかりと学ぶ場だ。

わからない時には「わからない」、わかった時には「わかった」と気軽に、しかもはまりと言える授業…そんな授業が本当の「授業」だ。これは9割は先生方の問題だが、残りの1割はやはり「生徒の責任だ」と思う。

お父さんの相手もなかなか大変!!

3/2 (火) 家族のこころをのびる [家族のこころをのびる]

今日はいつもとちがって家族について書きます。
 ちがいは、毎日毎日げんと「お父さん」と書いています。
 ちよつと前にはおと父さんの「んめんのうかひい」がはえてる
 所からへんに「い」をたして「い」。もうこれお父さんも「い」が
 つて「い」で自分も。お父さんのヒゲで「チ」を「チ」にかけてしま
 う。このように書いて「毎日」がつかれてます。

7"も私には、こういう「ミニケーション」が「こういうの」
 あるから「家族」+「と」私には「思」うの「ミニケーション」ない
 から「家族」に「か」ないで「と」ないで「私」は「と」ちうかといふ
 は「こうやって、会話した「り」で「か」家族うう「感」しいが」
 します。

コミュニケーションの中で最も大切なのは“表情”だそうです。言葉よりも何よりも“表情”が“物を言う”のだ。表情が豊かな環境は豊かな表情を育てる。郁東さんの豊かな“表情”は、そんな家族が育んだのかもしれない。



先日、ＴＶで動物園の象が映っていた。そう言えば、一昨年、興さんと上の娘２人が上野動物園に行ったっけなあ”などと思いつ、娘たちに話しかけた。

私：そう言えば、ずっと前、上野動物園に行ったっけな。結ちゃん(上の娘)、何見たんだっけ？

結：「パンダ」!! 「パンダ」が「ウンチ」してたんだよね。

私： そう！ よく覚えてるね。ササも食べてたんだよね。

すると下の娘の咲が、

咲：そうそう。そんでもって シタノ動物園 にも言ったんだよね!!

私：……。

動物園には物心ついてから連れていった方がいいようです。(指)

頓 珍 漢

1999年 3月 5日

第45号 発行責任者：梶野

=ホンモノのトンチンカンは誰だ!?=

7/4 「ありがたう」と云ふ(43.) 新雅集

今日は3年生を送る会がありました。先輩方は

うれしそうで悲しそうでした。でも万中は9シリ

をみてほいで"す。語は水曜日と逆のまり

ですが、その時放逐に給食を飯米室に運ぶ

1 所がいた。2年2組のうなかで、2組目(2)の男子が

→ 小走りとかにしたりしていった。最初は「二」や「三」

それからは、たしかに、 $\frac{1}{n}$ のように

から HL ようてから HL の方を行, t = その時...

和 α ... 因子 A, B, C ... 7 的 (最大) 因子 ...

= は "れたんて" ず! いかにも私の方手に (かた) = も) ずは

あつしその時が「ハット」= $\pi_{\Delta} \approx 2$ は π_{Δ} の中!

「う(ように)やんで(て)る時、2条の理知さんと里希奈

[illegible]

"Thank you" = ありがとう Thank you ありがとう

とハハハとて走って来た。海にカサマシーン(給金だす)

最近、廊下を走る人が多くて、先生も毎日のように注意して歩いている。つい先日、ふざけていた男子がヒロチの金網入りのガラスを割ってしまい、病院で治療を受けたばかりだ。どうも落ち着きがない。大きい事故につながる前に、自制してほしいし、せめて2の1のみんなには注意する方になってほしい。これだけは、ぜひお願いしたいし、それが結局は自分たちのためなのです。

= ブラバン存亡の危機! ? =

 $\frac{3}{4}$ (本)

3年生を送る会

No 20 Mi

今日 3.4 時間目に 3 年生を送る会が

あつた。私は「ラバン」なのでみんなより

さきに体育館に行った。私は、このころ

いろいろな仕事があって部活には、

少ししか行けなかった。だから、今日の

3年生を送る会での演奏は、ハ配

た"った0.1よ、いよ、3年生が"入場してくる

と書いて、楽器を持ってまっていた。

そして私たちの演奏で"3年生が"

人場してきた。私は、ドキドキした。

このまま、まちが"えす"に最後まで

いけば"いいなあー"と"思"っていた。

3年1組から入場してきて吹きながら

3年生の方を見ていたら、昔をまちが"えて

しまった。すごいはずかしかった。

たぶんきずいた人はいらぬと思うけど。

私は、卒業式の時こんなまちかい

は、しないよーにしようと思った。

たった9人での演奏はさぞ大変だったことでしょう。かつてはたくさんいたブラバンも今は9人。存亡の危機を迎えています。来年は何とか大勢入ってもらえるようにしないと。みんなで励ましていこう。



今朝、学年集会で 恥かしい先生の 通信簿を 紹介した。成績はごく普通
なのだが 所見欄がすごかった。すさまじいくらい良くない。はっきり言って
悪い。よほど問題だらけらしく、所見だけでは言い尽くせないという感じ
だった。しかし、あれ^位で 自信のついた生徒が増えれば万幸めでたし。
(担)

頼 紗 漢

1999年 3月 9日

第46号

発行責任者: 棚野

渋谷センセイの“クセ”と“いい人”の話

3/5

しばや先生

正智

社会の時間、しばや先生を見ていると笑ってしまう最初は、「今日は、208ページだな」といつも「だな、も最後につける、それに、まゆ毛は動かし、チョークの粉をほろひのがすごく長いのだ。パンパン、パン、パン、パン、いつおわるのか、フいで、しばや先生のもとも、黒板に書く漢字もいつもまちがえて、「たまに、こういう小細工するから気を付けろよ」と言ってくる。教科書読む所は自分であてればいいのに、くちびきで決める。社会の時間は、こう楽しいです。

渋谷先生はなかなかセンスがある。教師としてのセンスだ。前の職業柄がサービス精神が旺盛だ。味のある教師になるだろう。

3/6

日野

いい人

今日、はたなかに文ぼう具を買いに行、た。

しかし、かんじんのお金を忘れてきてしまったので、どうしようかと思った。けど、そのとき店員さんが「待ってるから取ってきていいよ」だからそういうことを言ってくれたので助かった。いい人だなと思った。

ちなみにこれはそのとき買ったペンで書いた。いいペンだ。

信用してもらうというのは気持ちいいことだ。店員さんは日野くんを見て「この人なら大丈夫」だと判断されたのでしょうか。人は見かけだけでは判断できないけれど、誠実さというのは自然に振る舞いに出るものだ。

卒業式の練習

今日、5、6校時に卒業式の練習があった。卒業式の流れをやって、おと歌を歌った。数初の方は、ぜんぜん声が出てなかったけど、時間がたつにつれてみんな声が出てきた。おれたは卒業式の練習があるって、今日よりも、もっと大きく声が出せるようにがんばりたいです。 正規

いはいよ 明日は 卒業式。今日は、1、2年生もとても立派でした。明日は形だけでなく、ハートで3年生を送り出してほしい。来年はいはいよ 君たちの番だ。



先日、3年前 受け持ったクラスのクラス会に呼ばれていってきた。もう18才だから結構、大人、ほくな、てたし、何よりも精神的に成長した姿を目の当たりにして嬉しかった。

例えば、S君。某高校へ進学したが、間もなく中退。その後、アルバイトで生活中。しかし、そのアルバイトの中から貯金(車を買うため)し、同時に家にも数万入れているとのこと。“先生は1番だ”と言っていたが、先生よりもS君の方が偉いなあと思った。

同じくT君。某高校を卒業して、東京の専門学校へ行くことになった。彼は最初、地元へ就職するつもりだったが、夢が捨てられず東京へ。しかし、その先が偉い。“親には迷惑をかけられない”というので新聞奨学生として入学することにした。これは学費を新聞の会社に出してもらったかわりに、2年固 朝と夕方、新聞配達をするというものだ。ちなみに朝は毎日、4時30分起床、夕方学校が終わった後、いすぐに働き始める。休みはほとんどないので、帰省もできないとのこと。

そして、K君。“先生、就職ないですか?”彼はまだ就職先が決まっていな。それでも“もう独り立ちしね、けね、ちや”“親にはもう頼れない”と言っていた。

そんなみんなに共通しているのは、明るく前向きだということ。この先行き暗い世の中をたくましく生きぬいてほしい。私は当時の学級通信の号外に、そう書き、一人一人にわたした。成人式での再会を約束して。

頼 妙 漢

1999年 3月 17日

第47号 発行責任者: 棚野

みんなの日記もこんなに成長しました。

3/16(火)

三浦 有

今日数学の時間にプリントも
 書いて分からないところがあった。
 分からないところも友達とかに
 教えてもらって分からないところ
 が分かって問題、解けた時の
 すごく気持ちいい感じがした。
 したという実感がしました。

もうすでに教科書が終った教科もあるそうですね。残り1週間、悔いの残らないよう授業に励んで下さい。

さて、最近、三浦くんの日記の“質”が変わってきた。場面の切り取り方がすごく深くなってきた。1日の出来事の中から一場面を切り取って書くのが日記。その切り取り方、つまり場面を見つめる目がすごく高まってきた。ちなみに三浦くんは5月25日の日記に「書くことがない」という日記を書いてきた。それに比べれば何と成長したことが…。物事を見つめる目が育ってきたのだ。

それと問題が解けて「気持ちいい」という素直な表現も先生にとては嬉しい。分からなかったことが分かって何も感じない人はいない。それにすぐに何でもパッパッと分かる天才とか秀才と呼ばれる人にはなかなか分からない感じだと思う。苦労しながら解こう、答えを出そうと努力する人にしか感じ取れない気持ち良さだ。3年生になっても、この気持ち良さが味わえるといいな。

3/16(火) 王様日記

もう2年生もあわりです。ということば
 王様日記ともあわかれのぼつがもしたはい。
 1年生の時、王様日記が「たかたかた」
 し「いりてよこされ」とき「い」と「ん」を「い」
 で書いていいのか。せ「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 だ「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 の出来事が「スグ」頭「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 によって「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 し「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 んた「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」
 んた「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」が「ん」

今日 → 明日

日記の良さ、面白さ、奥深さをうまく表現している。初めて日記に取り組んだ人にとっては、何だか得体の知れない、面倒なものでしかなかった日記が、少しずつ根づいていった様子がよく分かります。この日記を読むと、毎日の生活がただ目の前を流れていったのではないこと、普段はあまりいべらなくても、何を考え、どう行動しようとしているかがわかること、そんなことがよく伝わってくる。



2年生も残す所、1週間になりました。2の1ももうじき解散です。残された日々の中で1人1人の成長をもう一度確認できたらしいなあと、思っています。最後の日記はみんな気合を入れて書いてほしい。

さて、先日、本校OGのHさんが2の1を訪れ、「私にとっての高校生活」「これからの私の進路」について話をしてもらいました。高校時代はバレーボールに明け暮れたこと、その中で仲間の大切さや人の優しさに触れたこと、そして今後は福祉の道に進みたいことetc 先生も昔のことを思い出しながらしみりとした気持ちで聞いていました。3年生の時、彼女は合唱コンクールの伴奏をやって見事、金賞を取りました。彼女は当日の朝、まだ9月だというのに手袋をしてきました。万が一のことがあったら大変だと思い、念のため手袋をして指を保護してたのです。そんなことを思い出しました。(地)

頓 珍 漢

1999年 3月18日

第48号

發行責任者：梶野

お母さんの仕事は大変だ!!

3/17 (水) お母さんの大変は。

うちのお母さんは、今東京に行っています。
そのかわりに あだしが家のことをしています。
いつもなら、お母さんがいるのに
いすはいとやっはのソ、ソズムわ
くまいます。

ごはんをつくるのもあたし。(信じられないうけと)
お父さんとお兄ちゃんのごはんもつくります。
お母さんは、いつもはやくおきていろんた
ことをします。さうじをしたり、朝ごはんを
作ったの。それから、すぐは朝の大変な日と
思いました。

お母はんの仕事は大変だ"と思います。
でも、これから大人になるんだ"から、
大変だ"なんて言えないなあと思いました。

お母さんの仕事って本当に多いんだ。見えない所での仕事もたくさんあって大変なんだけど、それをあまり表に出さないとこがえらいと思う。特に、冬の朝なんかは寒いのに早起きをしてご飯を作ったり、洗たく物を干したり... 先生なんかはそれに甘えて何もしないけど、この日記を読んで何かしなければ"と思う。明日から早速実行しよう。

きんばあさんからのお願い

 $\frac{3}{17}$ 夜

私も母英美の祖母でございます。英美が何時もお世話様でございます。
英美がミルクを飲んでゐる頃から育ちましたので、あの子の性格が
よく解ります。健康で元氣良く、自分己のまゝ遊んだり、自由に行
動したりする子供でした。その頃でしたか、私にとって今では忘れず事
のある出来事を起したのです。それは交通安全週間です。凄エ!
競馬場が行進して来たので「見せに行き、家の犬も通過したので、帰
ろうとしたら何と思ひぬしたのか、一目散に小さな身体で走り出
したのです。私が英美々々と走って追かければ、追かけられつゝ変り
国道道なりで「車道に出られるのでは」と思ひ難い。その子供を
おさえて下だ「さいと早く逃げてさけんぞ」も車の音で聴こえる筈はあり
ませんでした。私も心配とあやうで腰がクダクダになり前に進みな
りました。そうしたら、私が一番心配していた通り赤の信号を全く無視
して突っ走って行かれたのです。運良く車量も少ない、無事にたどり着
し、心配と安心した思ひは約10年経つて忘れられませんでした。
今はア面相の芸を作り家族笑わらせているのです。何10回見せられて
大笑いで「おなかかねじれる位です。」
笑ふ事はよい事です。か、勉強強方にも強いで「あらいたいと老母ハッ
として配ておられます。これからよろしくおねがいいたします。(さんばより)

これは本当に嬉しい日記です。お祖母さんの孫への愛情がにじみ出ています。家にも0才、3才、6才の子とどまがいたので、何かにつけて気を使います。特に事故だけは本当に怖いです。

上の娘は3才の時、茶の間の網戸ごと外へ転落したことがあって、その時は踵の中が真白、気が動転してしまいました。急いで仙石病院で検査をしてもらいましたが、翌日には目の回りが真黒になりました。今でも冷や汗ものです。

みんな同じような経験をしながら 大事に大事に育てられたんだと思います。親のみならず お祖父さんやお祖母さん、新戚、兄弟姉妹、地域の方々、みんなに大事にされてここまで大きくなったんだ。この日記からは そんなことがよくわかる。志摩さんはつくづく幸せだったなあと 思いませんか？

(杜)

頓 珍 漢

1999年 3月 19日

第 49 号 発行責任者: 梶野

学級納めまで残り5日になりました。

田所川友美 3/17 (水)

今日ほどいう訳か頭が自茶苦茶痛かった。笑うとムーン！と痛くなる。

だから都清は休んだ。

いつまでも「サボリてえ〜」とか思うのに、¹³家に帰ると薬飲んで、もらった本を¹⁴め

読んでたらい何となく「ヒステリック」だった。

部活中とかは早く帰ると寝て、とゆうんだがけとね。不思議だね。

「日」
 じつじょうとが、きんねんちとけんけんたいくけいさのと同じぢやうう。うんてんてん (三) (二)

友美さんにとってはどんな1年でしたか？ 単に楽しいとか、つまらないとかじゃなくて、友美さん自身が成長できたか、どうか…それがこの2の1の評価になるのだと思います。残り4日ですがじっくりと振り返ってみるのもいい。

毎年、学級通信は、子どもたちの作文や日記、父母の日記を中心に創ろうと心がけてきました。今年もどうやらその目的は達成されそうです。

この「碩珍漢」はその名の通り、学級の中のトンチンカンを大切にしようと思っ
て名付けたものです。2の1は私の予想をはるかに上回って成長しまし
た。生活面、学習面ともに前向きで取り組むようになり、担任がずばら
でも自分たちで何とかやっていける、そんな学級になりました。私にとっ
ては、何よりも嬉しいことです。

これに甘えず3年生になったら もっと高いレベルの目標をもって着実にク
アして行ってほしいと思います。

3/18 担当 ずす"スレ

くさば日記 かもしあす

オレの名は 裕輔。しかし、それは小6の
ときまでの話。中1のときは、ゆーすけ、
たった。そして現在には、すけ。の
そう。日記との出会いの中1のときだった。
(あのころはオレもカワイイ時代だったよ...)

初めはイヤで"イヤで"泣きながら日記を書いていた

か、中の3学期ごろには、また書くのは

昔々のものの、人の日記もうすんで、読売やうに
はなっていた。 (だってさ、おもろいんて) よ

中2になって、また日記を書くことになったとき

豆頁の中で「ベートーヴェン作曲の『運命』」が

[illegible]

こうあることは「運命」だったのか…。と思いつつモ

みた。あぐに人の日記も読むようになった。

今では、こう書くのもおもしろいかも... なんて

思ふときもある。(アタリときほ別れた"ナニ"。)

そういう意味では、もし3年生になって日記が
なくなったら、おもしろいこともするし、うんちもないし、うんち。

この二年間、オレはちゃんと日記も書いてきたか。

今日が一番長い文章がもしあればいい。

先生の記憶から言っても たぶんこれが一番長い日記だと思うよ。

裕輔くんは おまり自己表現が上手ではない (と思う)。どちらかと言え
ば"じっと静かに物事を見つめ、自分のペースで処理していくタイプ"だ。
だから必要以上の自己表現、自己主張はしないのでしょう。

But、日記だけは違う。こんなに生き生きと表現できるのだ。それは友美さんにも言えること。日記の中で泣き、笑い、楽しみ、悲しんだ人は他にもたくさんいる。それを存分に発揮し、交流できる場が日記だとしたら、こんなに嬉しいことはない。それを受け入れる雰囲気があるということなのだから。

(五)



頼 珍 漢

1999年 3月 24日

第50号 発行責任者: 梶野

くみんなのこれまでとこれから

授業日数223日。これが今年度 みんなが学校に通った日数です。何と多くの時間を共に過ごしたことでしょう。振り返れば思い出の1つ1つが2の1の血となり肉となりました。そして、1人1人も着実に成長しました。

和則 — 君は根が真面目。もっとも頭と体を鍛えなさい。

賢一 — ぐんと大人になりました。大人のリーダーになてほしい。

俊介 — いい感性をしている。今はまだダイヤの原石だ。もと磨け。

阿拓 — 沈黙は金。でも話さないと相手に伝わらないこともあるんだぞ。

栄 — 文化祭でのギターは、かよかった。何でもいから腕を磨け。

雁祐 — ラグビーとホッケーで培ったものを3年になったら試しなさい。

直人 — 3年になったら自分の足りない部分は何かをよく考えなさい。

崇 — 野球は9人のスポーツ。学級も同じ。良いリーダーになりなさい。

広輝 — 自分の力をどこで、何に対して発揮すべきか、きと判断しなさい。

裕輔 — “努力”の意味を考えなさい。“努力”することも才能の1つなのです。

裕哉 — “そのまま”いい。でも自分で変わらなきゃと思ったら変わらなさい。

勇太 — 君は1人で生きてるわけじゃない。人との関わりを深く考えること。

真美 — 2の1では君が1番中学生らしかった。1番手がかかった!?

正智 — 短気は損気。正義は善。その折り合いをうまくつけなさい。

正規 — 不器用さを恥じることはない。それに背を向けることの方が恥だ。

和正 — 物事の尺度は楽しいか楽しくないかで決めるのではない。わかる?

佑亮 — こちらが心を開けば相手も心を開く。“友達”への“第一歩”だ。

和仁 — 意見を受け入れる側から発信する側になりなさい。

信義 — 明けぬ夜はない。そう信じ続けることが大切だ。

大介 — 百聞は一見にしかず。何か1つでもいいから成功体験をしなさい。

真弥 — 自分の限界をつくるのは誰か? それは自分だ。

阿麻 — 自分の笑顔に自信をもちなさい。いい笑顔なんだから。

幸恵 — 自分のためならいつでもできる。人のためにはなかなかできないものだ。

ひとみ — バレーは君にとってビタミンと一緒。なくてはならない。

友美 — 個性というのは百人百様。人と比べるものでもないし、優劣もない。

エリカ — 思ったことはあまり心には閉じ込めず、時々、外に出しなさい。

佳奈 — 言葉は生き物。自分を離れて一人歩きすることもある。

遠望 — 君の信条は“努力”。“努力”の方向さえ間違わなければ“必ず”成功する。

やす子 — よく聴く耳とよく考える頭。人間の大きな武器だ。

小麻 — 時々、一人で別の世界へ行、ちゃうけど、大丈夫?

梢 — 水は低い方に流れる。鯉の滝のぼり。君はどちら?

郁恵 — 自分の力を過小評価するな。やれることは何かをう人と考えること。

のぞみ — 現実から逃げることはいつでもできる。その道は難しい。

真奈美 — 目に見えるものから目に見えないものを見つける力。そういう力がほしい。

英美 — そのままでいい。もっと大きくなればなおよし。

沙穂奈 — 人の信頼というのはさもないことで得られるもの。肝に命じて。

絵理 — ごはんをいっぱい食べなさい。ごはんは心の栄養だ。

平望 — いつでも最終決断は自分でするもの。責任も自分で取るしかない。

智崇 — 君は本当はユニークなことは失せがよく知ってる。



この頼珍漢もめでたく50号で終わります。途中、くじけそうになった時もありましたが、それを支えたのはみんなが書いてくる日記とお父さん、お母さんの声でした。学校や子どもの様子がよく伝わったかどうかは疑問ですが、この通信が真の力を発揮するのはもっとも、矢の語です。そのためにも時々3/3すり出して見てあげて下さい。今よりはよくわかるはずです。

(抱)